

第2章

産業・雇用施策の取組状況

第1節 トピックス

1 次世代産業への参入支援

(1) 金属新素材研究センターの開設

金属素材製造・加工企業が集積する「ひょうごメタルベルト(播磨～阪神)」の発展に向け、平成31年4月、「金属新素材研究センター」を県立大学姫路工学キャンパスに開設した。

センターでは、①電子ビーム式金属用3Dプリンタを用いた先導的研究、②レーザービーム式金属用3Dプリンタの中小企業活用支援、③新素材の研究、④先端材料・デバイス開発を推進。

また、企業・研究機関と県立大学等が連携し、「ひょうごメタルベルトコンソーシアム」を設立(令和元年9月)。金属新素材・加工産業の高付加価値化を推進する。

(写真：レーザービーム式3Dプリンタ)



(3) 兵庫県最先端技術研究事業(COEプログラム)の実施

最先端分野の产学官連携による萌芽的な研究調査や本格的な研究開発を目指す立ち上がり期の研究プロジェクトを支援してきた。

令和元年度は、対象産業分野にAI・IoT・ビッグデータ、自動運転及びドローンに関連する分野を追加するとともに、新規採択枠を拡充し、可能性調査・研究9件、応用ステージ研究9件の計18件を採択した。

令和元年9月5日には、国際フロンティア産業メッセ2019において認定式が実施され、採択されたプロジェクトの実施主体に、認定証が手交された。

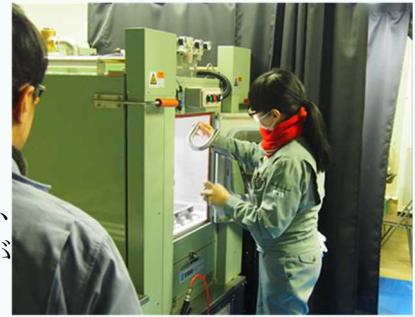


(写真：COEプログラム認定式)

(2) 航空産業非破壊トレーニングセンターによる検査員の養成

平成29年度に開設した「航空産業非破壊検査トレーニングセンター」(県立工業技術センター内)において、国際認証規格に準拠した講習を実施した。

材料表面の微細な傷を検出する「浸透探傷(PT)」、「磁粉探傷(MT)」に加え、平成30年10月からは材料内部の欠陥を検出する「超音波探傷(UT)」の講習も開始し、今後成長が見込まれる航空産業に不可欠な非破壊検査員の養成を図っており、令和元年度は、県内外の企業からPT8人、MT4人、UT4人、計16人が訓練を受講した。



(写真：航空産業非破壊検査トレーニングセンターでの講習の様子)

(4) 関西航空機産業プラットフォームNEXTの発足

航空機関連企業の集積や多様な技術を持つ中堅・中小企業など、関西のポテンシャルを活かして航空機関連産業を次世代産業の柱の一つとするべく、近畿経済産業局や関西経済連合会、NIR0をはじめ、兵庫県などの自治体や産業支援機関・金融機関・研究機関が参画する「関西航空機産業プラットフォームNEXT」が設立された。

令和元年5月にはキックオフシンポジウムが開催され、今後、サプライチェーンの強化や販路拡大、新たな技術の活用・発信など、幅広い活動を展開することとしている。



(資料：「関西航空機産業プラットフォームNEXT」キックオフシンポジウムの様子)

2 国内外からの企業立地の促進

(1) 県内への工場立地の促進

令和元年（1～12月）の本県の工場立地件数は48件であり、全国で6位となった。

立地企業の業種別では、金属製品製造業が9件で最も多く、次いで、食料品製造業、輸送用機械器具製造業がそれぞれ6件の順となり、合計で16業種と幅広い業種の立地があった。



（資料：経済産業省「工場立地動向調査」を基に県産業立地室作成）

(2) 外国・外資系企業の進出

外資系ヘリコプターメーカー大手エアバス・ヘリコプターズ・ジャパンが、神戸空港事務所に隣接する敷地に格納庫を増築し、令和元年12月に操業開始した。

同社は自社製ヘリコプター及び関連機器の販売、ヘリコプターの整備等、操縦士・整備士の訓練等を行っている。

今回の拡張は、官民向けの需要増加を見込んだもの。専有面積は1万9,677平方メートルに拡大し、神戸空港内の航空事業では最大のテナントとなつた。



（写真：エアバス・ヘリコプターズ・ジャパン格納庫）

3 地場産業のブランド力強化への支援

(1) 地場産業の首都圏における販路開拓

東京駅丸の内南口前に、豊岡鞄の旗艦店「豊岡鞄K I T T E 丸の内店」が平成30年9月にオープン。

令和元年度は、5月と11月にK I T T E 丸の内においてPRイベント「豊岡鞄フェア」を開催したほか、1月には羽田空港内に豊岡鞄の期間限定ショップを設置し、首都圏で豊岡鞄をPRした。

11月の「豊岡鞄フェア」では、兵庫県出身の女優、藤原紀香さんをゲストにトークショーを実施。豊岡や城崎温泉の魅力とともに豊岡鞄のデザイン性や高い品質等を広くPRした。



（写真：豊岡鞄K I T T E 丸の内店）

(2) ひょうごの「酒」の輸出拡大促進

海外での日本酒需要は年々増加傾向にある中、特にフランスでは高級料理店が積極的に日本酒を扱うようになるなど、日本酒に対する注目度が高まっている。

兵庫県酒造組合連合会及び灘五郷酒造組合は、令和元年10月にパリ市内で行われたヨーロッパ最大級の日本酒試飲イベント「サロン・デュ・サケ」に出展し、「ひょうごの酒」の魅力を発信した。

また、パリ市内の日本酒展示・販売施設「メゾン・デュ・サケ」で商談会を実施し、認知拡大を進めた。



（写真：サロン・デュ・サケの会場）

4 地域に根ざした商業の振興

(1) 商店街ファンづくり応援事業の実施

商店街に賑わいを創出するため、商店街が行うイベントなどを「商店街ファンづくり応援事業」により支援した。

フリーマーケットや夜市、コンサートや夏祭りなどイベント開催や、商店街をめぐるスタンプラリーやポイントカード事業、シンボルマスコットの製作などを実施された。

事業を実施した商店街へのアンケートでは、8割超のイベントで1,000人を超える来場者があり、4割超の商店街で事業実施後に来場者が増加したほか、イベントの実施により、「イメージアップにつながった」「地域との連携が深まった」との声があった。



(写真：いきいき納涼祭（浜坂駅前通商店街）)

(2) 兵庫県立工業技術センターによる先端機器の整備

国際競争の激化や厳しい経済環境による課題が山積みとなっている、中小企業等に対する技術支援を充実させるため、工業技術センターに先端機器を整備し、企業の外部競争力の強化と、製品の高付加価値化を支援している。

令和元年度は、食品や医薬品の工業製品に含まれる揮発性有機化合物の定性および定量分析を行う、「高機能ガスクロマトグラフ質量分析装置」を整備した。清酒特有

の微量な香り成分の網羅分析が可能であり、県内中小酒造会社の製品開発支援の強化が期待される。



(写真：高機能ガスクロマトグラフ質量分析装置)

5 新産業・新事業の創出

(1) 起業プラザひょうごの新展開、グローバルイバーシヨンセンター(GIC)の誘致

「起業プラザひょうご」の三井住友銀行神戸本部ビル2階への移転に向けた準備が進展（令和2年9月1日リニューアルオープン）。

コワーキングスペース等を備えた同施設では、産業振興にかかる協定を締結している三井住友銀行との官民連携により、一層充実した起業支援の取組を推進する。

併設されるSDGsの課題解決に取組むスタートアップ企業を支援する国連機関「UNOPS GIC Japan (Kobe)」（令和2年11月オープン）との連携・交流を図るなど世代・国籍を超えた起業家ネットワークの構築を目指す。



(写真：リニューアルオープン式典)

(3) ドローンの先行的利活用事業の実施

県・神戸市連携のもと、多様な分野で最新技術を用いたドローンを先行的に利活用し、その効果を示すことで、県内企業を中心に民間分野での利活用を促進するため、令和元年度は14テーマで利活用を検証した。

森林資源量調査では、宍粟市のドローンを約70km離れた県庁から遠隔操作し、レベル3飛行（無人地帯での補助者なし目視外飛行）を実施した（地方自治体によるレベル3飛行での森林資源量調査は全国初）。

令和2年度は行政分野に加え、公益性の高い民間分野について官民連携で実証実験を行い、ドローンの利活用を促進する。



(写真：レベル3飛行での森林資源調査で使用されたドローン)

6 ひょうごで働く！プロジェクトの推進

(1) 若者と県内企業のマッチング支援

「ひょうごで働く！プロジェクト」関連施策情報、県内企業の魅力や求人情報を掲載した「ひょうごで働く！マッチングサイト」を令和元年10月にオープンした。

あわせて公開したスマートフォンアプリでは、希望条件に応じた情報が更新された場合のpush通知や、求人企業からのスカウトを受け取ることができる。

また、学生や県外からのUJTIターン希望者が、県内企業と直接マッチングできる機会を提供するため、合同就職面接会、企業説明会を県内外で開催し、若者の県内就職と定着を促進した。



(写真：ひょうごで働く！マッチングサイト)

(2) 大学生の県内企業への就職促進

県内学生の県内企業への就職を促進するため、就職支援協定を締結した県内大学と連携し、県内企業等への見学会や企業説明会・セミナーを実施した。

また、大学生等に県内中小企業の魅力を身近に伝えるため、企業で体験実習を行うインターンシップ事業を実施し、受入先企業64社に、94校578名の学生が参加した。

このほか、女子学生が自身のキャリアプランを考えながら就職活動に取り組めるよう、学生主体の企業研究を行うとともに、その結果を発表するフォーラムを開催した。



(写真：学生による企業訪問の様子)

7 多様で柔軟な働き方の普及促進

(1) ひょうご仕事と生活センター10周年及び地域拠点の開設

「ひょうご仕事と生活センター」は令和元年度に開設10周年を迎えた。この間、ワーク・ライフ・バランスの取組を宣言した企業は2,218社、センターが一定レベルの取組を認定した企業は244社、特に優れた取組を表彰した企業は112社と、推進企業は着実に拡大している。

また、地域拠点として、姫路事務所、阪神事務所(尼崎市内)を令和元年度に開設。企業訪問による宣言・取組支援を強化するほか、両地域でのシンポジウム開催など、さらなる普及啓発・情報発信を図った。



(写真：ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰)

(2) 障害者雇用の促進

障害者を雇用する企業の開拓や就職支援、能力開発を通じて障害者の就労を拡大した。

障害者雇用者数は16年連続で増加し、令和元年6月1日現在で15,727.5人(③15,268人)、障害者雇用率は2.16%(③2.11%)で前年から精神障害者を中心とした雇用の伸びにより0.05ポイント上昇した。

福祉的就労の状況は県内就労支援事業所の利用者数は15,637人(前年比+5.7%)うち1年間で一般就労に移行した者は858人(前年比+5.4%)となった。

令和2年度は、県独自のジョブコーチ制度を創設する等、就労・職場定着も図る。

身体・知的・精神障害者いずれも前の雇用者数を上回る。特に精神障害者の伸び率が高い(前年対比+17.8%)。

全体に占める割合は、身体・知的障害者に比べ精神障害者はまだ少ない。

<雇用者数>		
H30 ①	R元 ②	②/①
身体	9,698.0人	9,762.0人
知的	4,234.0人	4,391.5人
精神	1,336.0人	1,574.0人
合計	15,268.0人	15,727.5人

	H30	R元
身体	63.5%	62.1%
知的	27.7%	27.9%
精神	8.8%	10.0%
合計	100.0%	100.0%

(障害種別による雇用状況)

8 産業人材の確保・育成

(1) 民間企業との連携を契機としたものづくり人材育成の更なる推進

工作機械メーカーであるDMG森精機株式会社と、ものづくり人材の育成等に関し緊密に連携を行うことに合意(令和2年4月10日連携協力に関する協定を締結)。

同社から最新工作機械がものづくり大学校に無償貸与され、それを活用した職業訓練や地域の企業を対象としたデモストレーションを実施する予定。

また、同社の高度技術者の協力を受け、既存の高度工作機械の訓練も充実する等、人材の育成や金属加工産業の高度化に、共同で取り組む。



(写真：無償貸与されるターニングセンタ NLX2000 | 500)

(2) ハバロフスク地方友好提携50周年記念事業の実施

令和2年に設立30周年を迎えた兵庫県国際交流協会との連携のもと、友好・姉妹州省等との交流を推進し、相互理解を深めている。

令和元年8月には、兵庫県とロシア連邦ハバロフスク地方との友好提携50周年を記念して、知事を代表とする友好代表団等がハバロフスク地方を訪問。友好提携50周年の共同声明に調印したほか、「ひょうご・神戸経済セミナー」を開催し、交流の歩みや本県の魅力等について発表した。

また、ウラジオストク市を訪れ、沿海地方政府と今後の交流の可能性について協議を行った。



(写真：ハバロフスク地方政府訪問)

9 国内外における交流の促進

(1) 海外事務所を通じた国際展開の支援

ワシントン州事務所では、県内企業の米国市場進出支援として、オレゴン州の宇和島屋ビーバー店で「ひょうご神戸フェア」を開催(令和元年9月25日～10月1日)。県内食品関連18社の商品を販売し、店頭での試食販売キャンペークを実施するなど、大盛況となった。

西オーストラリア州・兵庫文化交流センターでは、県内真珠加工販売企業による同州アルバニ地区におけるアコヤ真珠生産プロジェクトを支援。

また、西豪州政府の協力得て、新事務所への移転準備を進めた。(令和2年7月より業務開始)。レクチャーセンターの新設により、日本語講座の拡充や大規模講演が可能となった。



(写真：現地で採取されたアコヤ真珠)

(3) ひょうご観光本部のDMO登録、兵庫わくわく館のリニューアルオープン

令和元年8月に発足したひょうご観光本部は、今年3月に観光庁から「日本版DMO」(地域連携DMO)に登録された。「持続可能な観光」と「世界に選ばれるデスティネーション兵庫」の実現を目指し、地域主導の着地型観光や多様なステークホルダーとの連携事業等に取り組む。

また、有楽町にあるアンテナショップ「兵庫わくわく館」は令和元年9月14日にリニューアルオープン。店舗面積が3倍となり、日本酒の試飲カウンターやスイーツ専門コーナーを設置。首都圏での兵庫の特産物販売や観光情報の発信を充実していく。



(写真：リニューアルオープンした兵庫わくわく館)

第2節 施策の取組状況

人口減少と少子高齢化、働き方の多様化、AI・IoT・ビッグデータによる技術革新や人・物・情報の交流の飛躍的拡大など、産業・雇用を取り巻く環境は大きく変化している。

こうした中、県では、「ひょうご経済・雇用活性化プラン(2019～2023年度)」に基づき、新たな時代を拓くすこやかな兵庫経済の構築に向け、以下の「強化策3本柱」を一体的に推進した。

- ①第4次産業革命等による技術革新を活用しながら、様々な主体によるイノベーションの創発を促進することにより、国内外の需要を取り込み、産業の稼ぐ力を高度化させる「稼ぐ力を持つ産業」の強化
- ②労働市場の需給変化に対し、高度人材に魅力ある就労の場の創出、多様な働き方の浸透、働き手のスキルアップを通じ、兵庫産業を支える人材を確保・育成する「環境変化に対応し、挑戦する人材」の強化
- ③五国の特性と魅力の発揮に向け、ソフト・ハード両面から基盤を整備し県内企業の国際展開や海外企業の呼び込みを推進するとともに、国内外からの誘客を促進する「地域の魅力で沸き起こる交流」の強化

(1) 「稼ぐ力を持つ産業」の強化策

プロジェクト1 世界をリードする技術基盤とサプライチェーンを生かした次世代成長産業の集積

AI・IoT をはじめ今後成長が見込まれる次世代産業分野での成長を促進するプロジェクトを開発した。また、金属新素材研究センターを開設し、産業競争力の強化や产学研官連携の推進に資する基盤・環境を整備した。県内全域での企業立地を幅広く促進するため、新たに立地促進事業を手がける事務所等に対する立地支援の強化等を実施した。

プロジェクト2 地域社会に根ざした地場産業、商店街、サービス業、農林水産業等の地域産業の持続・高付加価値

地場産業のブランド力強化に向けた新技術開発や人材育成、販路開拓支援を行ったほか、商店街が地域と一体化してにぎわいを創出するイベントなどを支援し、ファンづくりを応援するとともに、共同施設の改修、事業承継の支援を行った。

プロジェクト3 技術革新・地域資源を活用し、新たなニーズを捉える新産業・新事業の創出

多彩な主体による起業・創業や企業の第二創業を促進するための支援に加え、「起業プラザひょうご」により起業家の裾野拡大・育成を促進した。

中小企業の技術力を強化するとともに、優れた技術、ノウハウを持つ企業の知名度をあげ、他社との連携による製品開発や新たなサービスの創出、販路拡大等を図るために、広報、展示会等への出展、異業種交流への支援を行った。また、最新技術を用いたドローンの民間分野での活用を促進するため、県・神戸市連携のもと、先行的に活用し、その効果を検証した。

(2) 「環境変化に対応し、挑戦する人材」の強化策

プロジェクト4 未来の担い手、技術革新を担う人材の呼び込みによる、兵庫の飛躍に向けた働き手の確保

人手不足が深刻化するなか、第2新卒者を含めた若者の県内就職及び定着を促すため、若手社員の奨学金返済を支援する中小企業への補助や大学生に対する就職支援のほか、「ひょうごで働く！マッチングサイト」の開設・運営や合同企業説明会等により、県内企業の魅力や県の施策内容をPRし、若者と企業とのマッチングやUJIターンを促進した。

また、女性や高齢者、障害者の雇用就業の機会を拡大するため、セミナーの開催や企業に対する補助を行った。

プロジェクト5 一人ひとりが、自らの状況に応じて働きやすい環境づくり

育児・介護等による離職防止及び離職者の早期再就職を促進するための企業への助成ほか、仕事と生活のバランスに配慮した働きやすい環境づくりに向け、政労使一体となったワーク・ライフ・バランスを推進するため、「ひょうご仕事と生活センター」を中心に、普及啓発・情報発信、相談・研修に加え、環境整備に対する補助を行った。

プロジェクト6 人生100年時代と技術変化の加速に応じた切れ目ない学び直しの場による、生涯現役の産業人材育成

職業能力開発を促進するため、職業能力開発校等において、離転職者、企業在職者等に対し多様な職業訓練を実施した。また、ものづくり大学校における中学生等へのものづくり体験の機会提供に加え、最先端技術に対応可能な技術者の確保に向け中核的技術者の育成、若者の技能検定受検促進に取り組んだ。

(3) 「地域の魅力で沸き起こる交流」の強化策

プロジェクト7 多文化共生の先進地としての強みを生かし、海外の成長活力を捉える国際交流の推進

ひょうご海外事業展開支援プロジェクトの推進による海外市場への販路拡大等を支援したほか、友好提携50周年を迎えるハバロフスク地方に友好訪問団を派遣し、交流の成果の確認及び本県のPRを推進した。また、在日外国経済団体とのネットワーク強化により、外資系企業の県内進出、県内での投資や定着を促進した。

プロジェクト8 自然、文化、スポーツなど五国を織りなす多様で豊かな地域資源を生かした誘客の拡大

本県特産品の振興や継続的購入の促進を図るため、本県特産品を「五つ星ひょうご」として選定し、首都圏等のPR効果の高い地域において販売を強化し、全国に向け積極的にプロモーションを展開した。

プロジェクト9 だれもが安心・快適に兵庫を体験・滞在し楽しめるツーリズム推進の体制づくり

観光産業のやりがいや魅力の情報発信を行い、イメージアップを図るとともに、就職フォーラムへの合同参加等を実施し、人材確保・育成を推進した。

強化策 I 「稼ぐ力を持つ産業」

プロジェクト1 世界をリードする技術基盤とサプライチェーンを生かした次世代成長産業の集積

1 世界水準の技術を誇る県内企業による先端分野参入支援

(1) 次世代産業分野への参入促進

① ひょうご次世代産業高度化プロジェクトの推進

国の地域活性化雇用創造プロジェクトを活用して、AI・IoT、航空・宇宙、ロボット、環境・エネルギー、健康・医療の5分野において、プロジェクトを展開(H30～R2)

ア AI・IoT分野

製造現場等へのIoT導入に向けた環境整備や人材育成の経費を助成 等

- ・ IoT・AI・ロボット導入支援事業 等

イ 航空・宇宙分野

企業の航空機産業参入に不可欠な認証取得や非破壊検査等研修の経費を助成

- ・ 航空機分野参入促進事業

ウ ロボット分野

専門家派遣等によるロボット活用の普及促進と企業の試作経費を助成 等

- ・ ロボット実用化・普及促進事業

エ 環境・エネルギー分野

参入促進セミナーの開催、企業の試作開発や研修の経費を助成 等

- ・ 水素等次世代エネルギー・環境分野参入促進事業

オ 健康・医療分野

企業によるワーキンググループに対する専門家の指導・助言や、企業の試作開発・認証取得の経費を助成 等

【R元年度実績】 雇用創出数：806人

② ひょうごメタルベルトを中心とした金属新素材開発普及事業

「金属新素材研究センター」を開設し、医療・航空・電子など次世代産業の部品製造で高付加価値化を実現する金属新素材の製造・3D造形技術を開発。工業技術センターのサテライトとして技術移転を推進

○開設時期 平成31年4月

○開設場所 県立大学姫路工学キャンパス内

○推進体制 研究は県立大学と連携して実施

ひょうごメタルベルトコンソーシアムの設置

③ 航空産業非破壊検査トレーニングセンターの運営

県内航空機関連産業の競争力強化、受注拡大等を促進するため、航空機部品等の製造に必要な非破壊検査員を養成するトレーニングセンターを運営

○設置場所 県立工業技術センター

○講座内容 浸透探傷検査(PT)・磁粉探傷検査(MT)・超音波探傷検査(UT)の
座学・実習訓練による検査員の養成

【R元年度実績】 受講者数：16人

2 科学技術基盤の産業利用の促進・裾野拡大

(1) 科学技術基盤の民間利用の推進

① スーパーコンピュータ「京」の産業利用への支援

「京」の産業利用を促進するため、FOCUS スパコンの利用提供など、高度計算科学研究支援センターを拠点に展開される企業の技術高度化やシミュレーション技術の普及啓発等を支援

【R元年度実績】 FOCUS スパコンを利用した研究開発企業数：191社

② 放射光利用促進事業

県主導で戦略的なビームライン運営を実施し、放射光科学、マテリアルズ・インフォマティクス※、材料科学の融合による新技術・新材料開発を推し進めるとともに、ニュースバルの産業利用を促進

※膨大なデータの解析から帰納的に新たな材料設計の指針を得る研究方法

【R元年度実績】 SPring-8 兵庫県ビームライン稼働率：100%

3 成長が見込まれる先端分野の開拓・深耕に向けた产学研官連携の推進

(1) 产学研官連携の推進

① 兵庫県最先端技術研究事業(COEプログラム)の実施

最先端分野の产学研官連携による萌芽的な研究調査や本格的な研究開発を目指す立ち上がり期の研究プロジェクトを支援

対象産業分野にAI・IoT・ビッグデータ、自動運転及びドローンに関連する分野を追加するとともに、新規採択枠を拡充

【制度概要】

	可能性調査・研究	応用ステージ研究
対象産業分野	航空・宇宙、ロボット、環境・エネルギー、健康医療、新素材 等 【拡】AI・IoT・ビッグデータ、自動運転・ドローン	
補助対象者	产学研官で構成される共同研究チーム <要件> ①「産・学・官」、「産・学」、「産・官」のいずれかで構成 ②少なくとも「産」のうち県内に事業所を有し、かつ県内で研究活動を行っている中小企業者を1者含むこと ③対象産業分野の事業拡大もしくは新規参入を目的として実施する研究で、共同研究に参画する県内中小企業者が当該研究成果を活用した事業化計画を有していること	
1課題あたりの補助金額	10～100万円	100～1,000万円
補助率		定額
対象経費		研究(調査、試験分析、試作を含む)に必要な経費
補助期間	1年間	原則1年間(最大2年間)

【R元年度実績】 新規採択件数：18件(可能性調査・研究9件、応用ステージ研究9件)

② ひょうご産学官連携コーディネーターの活動支援

大学や研究機関の研究支援人材の連携強化、企業と研究者のマッチングや競争的資金の獲得支援等に対応するためのスキルアップを図るため、(公財)新産業創造研究機構(NIRO)に事務局を置く「ひょうご産学官連携コーディネーター協議会」の運営を支援

○事業内容 勉強会の開催、ひょうご産学官連携研究会の開催、企業・大学研究者のデータベース構築 等

【R 元年度実績】 コーディネート件数：28件

(2) 成長市場の拡大・販路開拓

① 國際フロンティア産業メッセ 2019 の開催

国内外の企業、研究機関等の先進的な技術・ビジネスに関する展示を通じて、新たな技術開発の提携や販路開拓を支援する国際フロンティア産業メッセ 2019 を開催

○開催時期 令和元年9月5日・6日

○開催場所 神戸国際展示場

【R 元年度実績】 出展規模：522社・団体／542ブース
来場者数：約3万人

4 県内投資を促進する立地競争力の強化

(1) 産業立地の促進に向けた立地インセンティブの強化

① 産業立地条例による産業立地の促進

本県産業の活性化と雇用の創出を図るため、県内全域での幅広い産業立地を促進するための立地支援施策を実施

ア 本社機能

(補助)

区分	補助率等
雇用補助	要件 新規正規雇用者(県内住民票必要)11人(促進地域6人)以上 補助単価 新規正規雇用者 30万円/人(促進地域 60万円/人、新規非正規雇用 30万円/人(促進地域のみ)) 補助限度額 3億円
設備投資補助	要件 本社機能の三大都市圏等及び外国からの移転又は県内での新增設で、設備投資額(土地代除く)が10億円(中小企業5億円、促進地域1億円)以上 補助率 投資額の5%(促進地域7%) 補助限度額 上限なし
オフィス立地促進賃料補助	要件 新規正規雇用者(県内住民票不要)11人(促進地域6人)以上 補助率 賃料×1/2(県1/4、市町1/4) 補助限度額 200万円/年、3年間

外資系企業 向けオフィス 賃料補助	要件 外国・外資系企業等 補助率 賃料×1/2 (県1/4、市町1/4) 補助限度額 200万円/年、3年間
外資系企業 設立支援補助	要件 外国・外資系企業の日本本社 補助率 ①市場調査経費等×1/2 ②法人登記経費等×1/2 補助限度額 ①100万円/社 ②20万円/社

※新規正規雇用者：①新たに雇用する正規従業員、②県外から異動する正規従業員
(税軽減)

区分	軽減率等
不動産取得税	要件 新規正規雇用 (県内住民票不要) 11人(促進地域6人)以上 (指定拠点地区は要件なし) 軽減率 1/2、限度額2億円
法人事業税	要件 新規正規雇用 (県内住民票不要) 11人(促進地域6人)以上 軽減率 1/3 (促進地域1/2) 5年間

※新規正規雇用者：①新たに雇用する正規従業員、②県外から異動する正規従業員

イ 工場等・研究施設等

(補助)

区分	補助率等
雇用補助	要件 新規正規雇用者 ^{※1} (県内住民票必要) 11人(促進地域6人)以上 設備投資額5千万円以上 (促進地域除く) 補助単価 新規正規雇用者 ^{※1} 30万円/人 (促進地域60万円/人) 新規非正規雇用者 30万円/人 (促進地域のみ) 補助限度額 3億円
設備投資補助	要件 工場等：先端事業の設備投資額(土地代除く)が20億円 (中小企業 10億円) 以上 (促進地域1億円以上、先端事業不要) 研究施設：設備投資額 (土地代除く) が5億円 (促進地域1億円) 以上 補助率 工場等：設備投資額の3% (促進地域5%) 研究施設：設備投資額の5% (促進地域7%) 補助限度額 上限なし
新産業立地促進 賃料補助	要件 中核施設 ^{※2} に入居する新産業分野の企業 (中小企業に限る) 補助率 賃料×1/2 (県1/4、市町1/4) 補助限度額 200万円/年、3年間

※1 新規正規雇用者：①新たに雇用する正規従業員、②県外から異動する正規従業員

※2 企業の試験研究施設等のための建物であって、产学集積群の形成の促進に寄与する
産業の集積に資する研究支援施設または地域産業の高度化や雇用の創出に寄与する
産業の集積に資する施設 (500m²以上の賃貸用床面積を有するものに限る)

(税軽減)

区分	軽減率等
不動産取得税	要件 新規正規雇用 (県内住民票不要) 11人(促進地域6人)以上 (指定拠点地区は要件なし) 軽減率 1/2、限度額2億円
法人事業税	要件 ①設備投資額(土地代除く)が2億円(中小企業1億円)以上 (促進地域：1億円(中小企業0.5億円)以上) ②新規正規雇用者 [*] (県内住民票必要) 11人(促進地域6人)以上 軽減率 1/4 (指定拠点地区1/3、促進地域1/2) 5年間

※新規正規雇用者：①新たに雇用する正規従業員、②県外から異動する正規従業員

ウ 事務所

(補助)

区分	補助率等
雇用補助	要件 新規正規雇用者※ ¹ (県内住民票必要) 11人 (促進地域6人) 以上
	補助単価 新規正規雇用者※ ¹ 30万円/人 (促進地域60万円/人)
	補助限度額 新規非正規雇用者 30万円/人 (促進地域のみ) 3億円
設備投資補助	要件 設備投資額(土地代除く)が 10 億円 (中小企業5億円) 以上 (促進地域1億円以上)
	補助率 設備投資額の3% (促進地域5%)
	補助限度額 上限なし
オフィス立地 促進賃料補助	要件 新規正規雇用者※ ¹ (県内住民票不要) 11人 (促進地域6人) 以上
	補助率 賃料×1/2 (県1/4、市町1/4)
	補助限度額 200万円/年、3年間
外資系企業 向けオフィス 賃料補助	要件 外国・外資系企業等
	補助率 賃料×1/2 (県1/4、市町1/4)
	補助限度額 200万円/年、3年間

※1 新規正規雇用者：①新たに雇用する正規従業員、②県外から異動する正規従業員

(税軽減)

区分	軽減率等
不動産取得税	要件 新規正規雇用 (県内住民票不要) 11人(促進地域6人)以上 (指定拠点地区は要件なし) 軽減率 1/2、限度額2億円
法人事業税	要件 新規正規雇用者※ (県内住民票不要) 11人 (促進地域6人) 以上 軽減率 1/4 (指定拠点地区1/3、促進地域1/2) 5年間

※新規正規雇用者：①新たに雇用する正規従業員、②県外から異動する正規従業員

【R元年度実績】 補助件数：76件 補助金額 801,435千円、雇用補助人数 106人

② 空き床等への入居促進

空室期間が6か月以上の事業用建物やオフィスビルの空き床へ入居する事業者に入居時の改修費用又は賃料の一部を補助

新たに大規模事業所、標準事業所の区分を設け、標準事業所については常用雇用者数要件を緩和し、大規模事業所については補助限度額を拡充

ア 空き事業用建物活用型

区分	大規模事業所	標準事業所
常用雇用者数要件	11人 (促進地域※：6人)	【拡】6人 (促進地域※：3人)
補助限度額 (県負担) 1回限り	【拡】2,000千円	1,000千円
対象区域	県内全域	
対象施設	空き事業用建物 (築20年以上、空室期間6ヶ月以上)	
対象経費	建物の改修費用	
補助率	1/2 (県1/4、市町1/4) <市町義務随伴>	

イ 空きオフィス入居型

区分	大規模事業所	標準事業所
常用雇用者数要件	11人（促進地域※：6人）	【拡】6人（促進地域※：3人）
補助限度額 (県負担) 入居から1年限り	【拡】2,000千円	1,000千円
対象区域	①都市再生緊急整備地域（三宮） ②市街地再開発地区（新長田駅南地区、豊岡駅前第1地区など）	
対象施設	空き事業用建物（空室期間6ヶ月以上）	
対象経費	建物の賃借料	
補助率	1/2（県1/4、市町1/4）〈市町義務随伴〉	

※促進地域：但馬、丹波、淡路地域、西脇市、多可町、神河町、赤穂市、宍粟市、たつの市（旧新宮町のみ）、上郡町、佐用町

【R元年度実績】 1件 補助金額 293千円

（2）積極的な企業立地活動の展開

① ひょうご・神戸投資サポートセンターの運営

企業立地支援体制の整備と企業立地活動の強化を図るため、企業立地を支援する総合窓口として「ひょうご・神戸投資サポートセンター」を(公財)ひょうご産業活性化センターに設置

- 設置場所 ひょうご・神戸国際ビジネススクエア（神戸商工貿易センタービル内）
- 業務内容 国内企業の海外展開支援や外国・外資系企業の誘致を行っているジェットロード神戸及び神戸市とも連携し、国内外からの企業誘致を効果的に実施

【R元年度実績】 企業訪問件数：850件

進出決定企業数：国内企業 36社、外国・外資系企業 10社

プロジェクト2 地域社会に根ざした地場産業、商店街、サービス業、農林水産業等の地域産業の持続・高付加価値化

1 地場産業の新たな展開支援

（1）産地のブランド化の推進

① 地場産業のブランド力強化促進

産地のブランド力強化を促進するため、産地組合等が行う販路拡大、海外展開のための新技術開発、人材育成等の取組に加え、産地が新たなステップとして取り組む首都圏でのアンテナショップを核とした販路開拓の取組を新たに支援

- 対象産地 清酒、ケミカルシューズ、真珠、播州織、金物、皮革、素麺、豊岡かばん、淡路瓦、線香 等
- 対象事業
 - ・ニーズに応じた新製品・新技術・デザインの開発
 - ・国内外の展示会への出展・開催
 - ・国内外市場におけるマーケティング調査
 - ・ものづくりの専門能力を有する人材の育成
 - ・首都圏でのアンテナショップを核とした販路開拓 等

- 限 度 額 ・国内展開4,000千円、海外展開4,000千円、
人材育成2,000千円、首都圏販路開拓4,000千円（定額）

【R元年度実績】 14団体

② 産地クリエーターの養成支援

マーケット需要に沿った新製品開発や新たな販路拡大を担う産地クリエーターを養成するため、デザイナーとのコラボ、国内外商社等でのインターンシップ等に加え、産地若手グループの自主的な活動を支援

ア デザイナー等と連携した新製品開発

- 対 象 者 産地組合等
○対象経費 企画・デザイン料、製作費、原材料費 等
○限 度 額 1,000 千円（定額）

【R元年度実績】 5団体

イ 産地若手グループの交流活動支援

- 対 象 者 産地の若手グループ
○対象経費 会場借上費、旅費、製作費、原材料費 等
○限 度 額 300 千円（定額）

【R元年度実績】 2 グループ

ウ 国内外商社等でのインターンシップ・留学

- 対 象 者 産地組合等
○対象事業 ・国内外商社等でのマーケティングノウハウ修得
・国内外の技術学校等での技能等の修得
○対象経費 ・海外インターンシップ・留学に要する渡航費
・国内外の技術学校等への留学に要する授業料
○補 助 率 1/2 以内

エ インターンシップの機会を利用したPR用サンプル作成

- 対 象 者 産地組合等
○限 度 額 50 千円/件（定額）

③ じばさん兵庫ブランドの創出支援

産地企業等の新たなブランド創出を支援するため、産地の意欲ある企業等が、単独または他企業と連携して行う新商品・新技術の開発等を支援

- 対 象 者 産地中小企業等
○対象事業 ブランド創出に必要な戦略の立案、市場調査、新商品・新技術の開発・改良、デザイン開発・改良、販路開拓 等
○補 助 率 1/2以内
○限 度 額 10,000千円（3年間 30,000千円）

【R元年度実績】 7団体（新規）

(TMNグループ(粘土瓦)、大城戸織布(播州織)、(同)シーラカンス食堂(小野金物)、光洋製瓦(株)(粘土瓦)、ヤエガキ酒造(株)(清酒)、東亜食品工業(株)(乾麺)、(株)カゲヤマ(播州織))

(2) 新たな販路開拓の推進

① ひょうごのファッションイベントへの出展支援

新たな市場開拓を行うため、30～40代を中心とした大人世代を対象に開催されるファッションイベント（KOBE PREMIUM Night）に、ひょうごの地場産品をコーディネートしたステージ・ブースを設け、産地企業の情報発信を支援

○実施時期 令和元年10月31日

○実施場所 北野クラブ ソラ

【R元年度実績】 出展産地数 8産地

(播州織、皮革、豊岡鞄、真珠、ケミカルシューズ、神戸アパレル、洋菓子、清酒)

② ひょうごの「酒」輸出拡大促進事業

ひょうごの「酒」を海外へ積極的にPRし、県内清酒製造業のさらなる発展を目指すため、県内酒造組合が実施する海外展示会への出展及び海外商談会の実施等を支援

○対象者 県内酒造組合

○内容
・パリでの展示・試飲会（サロン・デュ・サケ）への出展
・海外向けG I（地理的表示：灘五郷（H30年6月28日指定））のPR
・パリでの展示・商談会（メゾン・デュ・サケ）の実施

【R元年度実績】 補助団体数 2団体

2 地域の商業と商店街の活性化

(1) 商店街のにぎわい・集客

① 商店街ファンづくり応援事業

商店街に継続的な賑わいを創出し潤いをもたらすため、商店街等が行う地域性・独自性をもったイベントなどを支援し、ファンづくりを応援

○対象事業 地域資源を活用したオリジナル商品の開発、商店街地域の特性に沿ったイベント、シンボルマスコットの製作 等

○補助要件 イベントについては、複数回実施

○補助額

対象経費	補助額	補助件数
1,500千円以上	@400千円	40団体
1,000～1,500千円未満	@300千円	40団体
500～1,000千円未満	@200千円	40団体
500千円未満	@100千円	40団体

※ただし、500千円未満は対象経費の1/4を超えない額とする

【R元年度実績】 105件 31,908千円

② 商店街キャッシュレス対応機器等導入促進事業

外国人旅行者の買い物利便性を向上し、誘客促進・消費拡大を図るため、商店街におけるスマートフォン決済の導入などキャッシュレス対応を促進

ア Wechat Pay・アリペイ等に対応するキャッシュレス対応機器の導入補助

○補助率 県1/3以内

○補助限度額 10千円（1店舗当たり）

イ キャッシュレス決済導入研修会

キャッシュレス決済の普及促進に向けた研修会を開催

【R元年度実績】 開催件数：8件（尼崎、宝塚、加古川、上郡、新温泉、丹波篠山、丹波、南あわじ）

③ 商店街免税店拡大等による外国人誘客事業

外国人旅行者の来街を促進し、あわせて商店街の新たな魅力を創出するため、訪日前旅行者への情報発信、免税手続一括カウンターの整備等を支援

○補助期間 最長3年

○補助率 1/2以内

○補助限度額 6,000千円

【R元年度実績】 3件 1,156千円

(2) 施設・環境の整備

① 商店街・小売市場共同施設建設費助成事業

商店街の魅力と利便性の向上により来街者の増加を図るため、アーケード等の共同施設の設置・改修等を支援

○補助率 1/3以内

○補助限度額 8,000千円

【R元年度実績】 35件 57,616千円

(アーケード14件、街路灯10件、防犯カメラ3件、その他8件)

② 商店街共同施設撤去支援事業

商業集積機能を失った商店街における空き店舗等の住宅への転換を促進するため、老朽化したアーケード等の共同施設の撤去を支援

○補助率 1/3以内(別途市町1/3以内)

○補助限度額 5,000千円

【R元年度実績】 2件 728千円

(3) 空き店舗対策

① 商店街新規出店・開業支援事業

商店街の空き店舗を活用した個性ある店舗の誘致や新規開業、子育てや高齢者支援施設等の地域交流施設の設置を支援。補助期間を3年に拡充

○補助期間 3年

○補助率 1/3以内

○補助限度額 1年目 1,500千円、2年目 500千円、3年目 500千円

【R元年度実績】 29件 26,956千円

② 商店街空き店舗再生支援事業

個性的な店舗出店による新たな客層の来街促進を図るため、商店街等が主導する出店誘致の取組を支援。店舗併用住宅への出店支援を拡充

○補助期間 3年以内

○補助率 1/2以内

○補助限度額 1年目 2,000千円、2年目 750千円、3年目 750千円

※コンサル委託料 1,000千円（1年目のみ）

※住居改修を伴う場合、別途1,000千円加算（1年目のみ）

※居住者が引越する場合、別途200千円加算（1年目のみ）

【R元年度実績】 6件 2,207千円

(4) 事業承継・人材の育成

① 商店街事業承継支援事業

後継者不足を乗り越え事業の継続を支援するため、商店街の活性化プラン等に基づき商店街が進める商店街づくりに合致する事業承継を行う店舗を支援

○支援内容

	店舗承継促進事業	承継店舗開業支援事業	承継店舗円滑化事業
補助対象者	事業譲渡者	事業承継者	
対象経費	移転費用	内装工事費等、広告宣伝費	店舗賃借料
補助期間		1年	3年
補助率	1/3以内 (別途市町1/3以内) (補助限度額:200千円)	(内装工事費・フード整備費) 2/3以内 (補助限度額:4,000千円) (広告宣伝費) 定額 (補助限度額:1,000千円)	1/2以内 (店舗面積区分に基づき設定)

【R元年度実績】 2件 642千円

② 商人塾実施事業

小売商業者の経営強化等に加え、商店街運営、リーダー育成の取組を支援

○補助率 定額

○補助限度額 200千円

【R元年度実績】 5件 1,000千円

③ 商店街次代の担い手支援事業

次代を担う商店街リーダーとして必要な資質向上を図るため、商店街の若手商業者グループが取り組む実践活動を支援（複数の商店街等からなる若手グループも可）

- 補助率 定額
 - 補助限度額 300千円
- 【R元年度実績】 4件 902千円

④ ひょうごいいね！お店表彰の実施

個店の意欲醸成と魅力向上による商店街の活性化を図るため、商店街に立地する個性あふれる店舗を表彰

- 【R元年度実績】 7件（大賞：3件、優秀賞：4件）

(5) 地域コミュニティ形成への貢献

① 商店街移動販売支援事業

中山間地域や都市郊外での買い物利便性の向上を図るため、移動販売車両導入等にかかる初期費用を助成することにより、商店街等が実施する移動販売事業の継続的な展開を支援

- 対象者 商店街・小売市場、商工会・商工会議所、商業者グループ
※民間事業者との連携も含む
- 補助期間 最長5年
- 補助率 1/2以内（1～3年目）、1/3以内（4～5年目）
- 補助限度額 3,000千円（1～3年目）、2,000千円（4～5年目）

- 【R元年度実績】 1件 2,053千円

② 商店街コミュニティ機能強化応援事業

地域のつながりを通じた地域商圈の深掘りを進めるため、地域資源等の活用による商店街を中心としたコミュニティ機能強化を図る活性化事業を支援

- 補助期間 最長3年
- 補助率 1/2以内
- 補助限度額 5,000千円

- 【R元年度実績】 4件 1,664千円

3 地域を支える農林水産業の基幹産業化

(1) 農商工連携など6次産業化の推進

① 農商工連携の支援

「ひょうご農商工連携ファンド」の基金運用益を活用して、県内の中小企業者と農林漁業者が連携し、互いの経営資源を活用した新商品・新サービスの開発や販路開拓等の取組を支援

- 補助額 上限500万円（2年間を通じた総額）
- 補助率 2/3以内
- 補助期間 交付決定日から2年以内

- 【R元年度実績】 新規採択件数 17件

プロジェクト3 技術革新・地域資源を活用し、新たなニーズを捉える新産業・新事業の創出

1 若者をはじめとした多様な主体による起業・創業の促進

(1) 起業・創業支援の強化

① 若手起業家支援事業

若者の柔軟な発想を生かし、県内で起業・第二創業を目指す若手起業家（35歳未満）に対し、事業の立ち上げ等に要する経費の一部を補助

○補助額 上限1,000千円 ※空き家を活用する場合、別途1,000千円加算

○補助率 1/2以内

【R元年度実績】 19件 19,613千円

② 女性起業家支援事業

女性ならではの視点を生かし県内で起業・第二創業を目指す女性起業家に対し、事業の立ち上げ等に要する経費の一部を補助

○補助額 上限1,000千円 ※空き家を活用する場合、別途1,000千円加算

○補助率 1/2以内

【R元年度実績】 56件 49,885千円

③ ミドル起業家等支援事業

事業性と社会性を両立させながら地域課題の解決に資する起業の促進を図るため、県内で社会的事業分野での起業を目指すミドル起業家（35歳以上55歳未満）に対し、事業の立ち上げ等に要する経費の一部を補助

○補助額 上限1,000千円 ※空き家を活用する場合、別途1,000千円加算

○補助率 1/2以内

【R元年度実績】 14件 17,937千円

④ シニア起業家支援事業

豊富な経験や技術、幅広い人脈といった強みを生かし県内で起業・第二創業を目指すシニア起業家（55歳以上）に対し、事業の立ち上げ等に要する経費の一部を補助

○補助額 上限1,000千円 ※空き家を活用する場合、別途1,000千円加算

○補助率 1/2以内

【R元年度実績】 35件 33,182千円

⑤ ふるさと起業・移転促進事業（UJITアーン者起業等支援）

ふるさと兵庫へUJITアーンし、県内で起業・第二創業又は県外の事業所を県内に移転する者に対し、起業及び移転に要する経費の一部を補助。東京23区からの移住者向けの起業支援を拡充

[一般枠]

○補助額 上限2,000千円 ※空き家を活用する場合、別途上限1,000千円加算

（起業・事業所移転に要する経費1,000千円以内、移住に要する経費1,000千円以内）

○補助率 1/2以内

【R元年度実績】 29件 34,268千円

[東京23区枠]

○補助額 1,000千円以内 ※空き家を活用する場合、別途上限1,000千円加算
(起業に係る経費のみ。移住に係る経費は市町の移住支援金で対応)

○補助率 1/2以内

【R元年度実績】 2件 2,531千円

⑥ クリエイティブ起業創出事業

創造性や技術・技能により新たな市場を切り拓くクリエイティブな起業家を公開審査により選定し、事業の立ち上げや研究開発に要する経費の一部を補助

ア 事業の立ち上げ支援

○補助額 上限2,000千円 ※空き家を活用する場合、別途上限1,000千円加算
(起業に係る経費1,000千円以内、研究開発に係る経費1,000千円以内)

○補助率 1/2以内

【R元年度実績】 5件 7,281千円

イ 機運醸成のためのセミナー等の開催

○対象者 若手の創業希望者等

【R元年度実績】 セミナー等開催回数 1回 (計61名参加)

(県内7カ所のコワーキングスペースからオンライン参加)

⑦ 高齢者コミュニティ・ビジネス離陸応援事業

高齢者の経験や能力を活かした就業機会を創出するため、高齢者を構成員とするコミュニティ・ビジネスの立ち上げ等に要する経費の一部を補助

○補助率 1/2 以内

○限度額 1,000千円

【R元年度実績】 認定件数 5件 4,582千円

⑧ 「起業プラザひょうご」の運営

スマートオフィス等の起業の場や交流機能を備えた起業・創業の拠点施設「起業プラザひょうご」を運営。県内起業家支援施設ネットワーク会議を設け、施設間の情報交換・相互連携を推進

○設置場所 サンパル6階 (神戸市中央区雲井通5-3-1)

○月額料金 基本会員: 5,000円 ※学生等減免 (半額) 措置あり

ワーキングデスク: 5,000円 席 数: 16席

スマートオフィス: 2,000円/m² 部屋数: 17室

【R元年度実績】 会員数 93人 (R2.3末現在)

⑨ コワーキングスペースの開設支援

地域における起業拠点を創出するとともに、テレワーク・副業等の多様な働き方に対応するため、コワーキングスペースの開設を支援

○支援内容

対象経費	補助期間	ソフト型	ハード型
建物改修費	開設時	1,000千円	5,000千円
空き家改修の場合		+1,000千円	+1,000千円
事務機器取得費		500千円	500千円
賃借料	3年間	600千円/年	—
通信回線使用料		600千円/年	—
人件費 (高度IT人材)		1,000千円/人・年 (IT事業を行う場合)	—
補助上限額(3年間)		8,100千円	5,500千円
空き家改修の場合		9,100千円	6,500千円
対象地域		政令市・中核市・阪神南地域以外	全県
補助率		1/2(県)※人件費は定額	1/2(県1/4、市町1/4)

【R元年度実績】 13件（うち新規7件）

(2) 資金調達・販路開拓への支援

① ひょうごチャレンジ起業支援貸付による支援

新規事業に取り組む起業家等に対し、事業に必要な運転・設備資金の無利子貸付を実施

○貸付限度額 一般枠：10,000千円 起業支援事業連携枠：5,000千円

○貸付期間 10年以内（うち3年据置）

【R元年度実績】 43件 157,700千円

② 新規開業貸付（経営者保証免除貸付）による支援

経営者保証に依存しない融資の一層の推進のため、経営者保証をとらない貸付を実施

○対象者 新規開業貸付の要件を満たす法人

○限度額 5,000千円

○期間 7年以内（うち据置1年以内）

○利率 年0.45%

○担保・保証人 不要

○融資枠 10億円

【R元年度実績】 219件 1,071,550千円（うち経営者保証免除貸付2件 5,000千円）

③ ひょうご・神戸チャレンジマーケットの開催

創業間もない企業や創業希望者と、投資家・金融機関等とのビジネスマッチングの場を提供する「ひょうご・神戸チャレンジマーケット」を開催

【R元年度実績】 発表企業 16社

④ ひょうご新産業創造ファンドによる支援

ひょうご新産業創造ファンドにより、新たな技術開発に取り組む将来性豊かなベンチャー企業等を資金面から支援

【R元年度までの実績】 投資実績10社11件、722,016千円（累計）

2 中小企業の経営力強化と技術革新・地域資源を活用した新事業展開

(1) 中小企業の経営革新・新事業展開への支援

① 相談・助言等による中小企業支援

ア 中小企業経営支援事業

県内 19 の構成機関によるネットワークを構築し、ワンストップで企業のニーズに対応するとともに、専門家による指導・助言等により、中小企業を支援

【R 元年度実績】 構成機関の相談件数 144,840 件

成長期待企業の支援件数 97 件

イ ひょうご専門人材相談センター事業

(公財) ひょうご産業活性化センターに「ひょうご専門人材相談センター」を設置し、中小企業の「攻めの経営」に必要な人材ニーズの掘り起こしや、民間人材ビジネス事業者と連携した専門人材のマッチングを実施

【R 元年度実績】 74 件(専門人材と中小企業とのマッチング件数)

② 中小企業の経営革新計画の支援

中小企業が実施する①新商品の開発・生産、②新サービスの開発・提供、③商品の新たな生産・販売方式の導入、④サービスの新たな提供方式の導入等、「中小企業等経営強化法」に基づく「経営革新計画」を支援

【R 元年度実績】 119 件(経営革新計画承認件数)

③ 中小企業の組織化・連携の促進

中小企業の経営資源の相互補完・強化等を図るため、兵庫県中小企業団体中央会が実施する中小企業者の連携・組織化や、活路開拓等に向けた取組を支援

【R 元年度実績】 指導件数 1,452 件、相談件数 2,208 件

④ 中小企業の官公需確保対策の推進

官公需に係る予算の適正かつ効率的な執行に留意しつつ、可能な限り分離・分割して発注する等により中小企業者の受注機会の確保を推進

【R 元年度実績】 中小企業への発注割合 官公需発注総額の 84.2% (目標 83.1%)

うち 創業 10 年未満の新規中小企業者 官公需発注総額の 2.91%

⑤ ひょうご新商品調達認定制度による支援

地方自治法に基づき、中小企業者が開発・生産する新商品・新役務を県が認定、随意契約でその商品・役務を県が購入・借り入れする新商品調達認定制度を実施

【R 元年度実績】 認定件数 8 社 8 商品

(「リキッドジエット」(ライズテック(株))、「ゆきらぐ 雪楽」(シバタ工業(株))、
「水耕栽培「浮かせてキット」」((有)グリーンスペース造園)等))

⑥ 異業種交流事業への支援

技術・サービス・デザイン等の幅広い分野において、ビジネスパートナーや事業連携等の可能性を発掘する異業種交流の取組を支援

○対象者 商工会議所、商工会、兵庫工業会等の会員企業を中心メンバーとして活動する異業種交流グループ

○補助上限額 1,500 千円／2年

【R 元年度実績】 54 グループ 53,580 千円

(2) 小規模事業者の持続的発展への支援

① がんばる小規模事業者支援事業

小規模事業者における最大の経営課題である営業・販路開拓に対する支援を行うことにより、中小企業振興条例が掲げる小規模事業者の成長発展を促進

〔対象〕 経営革新計画または経営力向上計画に基づき新たな取組を実施する小規模事業者

ア 販売促進ツール作成支援

○対象経費 チラシ・DM・ウェブサイト作成、広告掲載、デザイン改良等

○補助率 1/2 (上限 250 千円)

【R 元年度実績】 18 件 4,152 千円

イ 展示会共同出展の支援

○対象経費 大規模展示会への出展ブース借上代

○補助率 1/2 (上限 225 千円)

【R 元年度実績】 47 件 16,434 千円

② 小規模事業者への経営改善普及事業の推進

商工会議所、商工会に設置された経営指導員等が行う経理・記帳指導をはじめ、金融、税務、その他経営に関する指導（経営改善普及事業等）等に対する支援

【R 元年度実績】 352 件（指導員一人あたり）

(3) 中小企業の事業継続支援の強化

① 事業継続支援事業

事業承継を躊躇する中小企業を後押しするため、事業承継時に発生する経費を補助し、県内の中小企業の事業承継を支援

○対象者
・商工会・商工会議所の指導を受け、事業承継計画を策定した者
・事業承継を実施した者、もしくは補助期間中に事業承継を実施する者

○支援内容

補助対象経費	店舗賃借料(※)	広告宣伝等事務費	建物改修費・設備導入費	
補助率	1/2			
補助限度額	1年目	1,000 千円	1,000 千円	2,000 千円
	2年目	1,000 千円	1,000 千円	—
	3年目	1,000 千円	1,000 千円	—
	合計	3,000 千円	3,000 千円	2,000 千円

※店舗賃借料は第三者承継時のみ補助

【R 元年度実績】 48 件 73,381 千円

② 事業承継税制の活用促進

経営承継円滑化法に基づく事業承継の支援措置（事業承継税制等）に係る認定及び指導・助言を実施

③ 「経営革新貸付（事業承継）」の要件拡充

従業員や社外への事業承継を円滑に行うため、法の認定を受けた事業承継を行おうとする中小企業者及び個人を融資対象者に追加

(4) 中小企業者の災害時の事業継続支援

① 企業BCPの策定支援

大規模災害発生時における企業経済活動の継続を図るため、県内企業のBCP（事業継続計画）策定及びBCPの実効性を高めるために実施する訓練等に対して支援し、企業の防災力向上を促進

ア BCP策定セミナー開催補助

県内の商工会議所、兵庫県商工会連合会が行うBCP策定セミナーの開催に対して支援

○補助金額 商工会議所：上限300千円（神戸及び姫路の商工会議所は上限500千円）

兵庫県商工会連合会：上限2,100千円

イ BCP策定補助

帰宅抑制に係る規定を含むBCPの策定に取り組む県内の事業所に対して支援

○補助金額 上限50千円

② 中小企業等経営強化法に基づく「事業継続力強化計画」策定の推進

商工会・商工会議所が市町と協力して策定する「事業継続力強化支援計画」や、災害発生時の事業継続対策として小規模事業者の「事業継続力強化計画」の策定を支援

事業継続力強化支援計画	<ul style="list-style-type: none">○ 商工会・商工会議所が小規模事業者の防災に関する取組を支援するための計画 自然災害に対する注意喚起、BCP策定に関する指導助言、災害による影響軽減のための情報提供、災害発生時の被害状況の把握等について記載。計画期間5年以内。○ 市町と共同で作成、県が認定
事業継続力強化計画 〔県内 311 社認定 (R2.3月末時点)〕	<ul style="list-style-type: none">○ 防災・減災対策として必要な取組を記載。計画期間3年以内 被害想定、災害時の初動対応、事前対策（人員・設備・資金繰り・情報保全等）、実効性の確保（計画の見直し）等について記載○ 国（近畿経済産業局）が認定

3 中小企業の変革を支える金融の円滑化

(1) 円滑な資金供給を図る中小企業融資制度の推進

① 中小企業向け融資制度の運用

引き続き県と神戸市が連携・協調して制度融資を実施し、中小企業の資金繰り円滑化を支援

ア 融資枠3,600億円

【R元年度実績】 8,729件 93,651百万円

イ 「新技術・新事業創造貸付」の要件拡充

人手不足により悪化した収益を改善できる、AI・IoTなど生産性の高い設備の導入を促進するため、融資対象者を追加

ウ 「就労環境・福利厚生充実貸付」の新設

社員寮、食堂や休養室及び事業所内保育施設等の整備を促進し、就労環境や福利厚生の充実を図るため、低利の貸付を新設

○対象者 雇用する労働者のための事業所内の就労環境改善及び福利厚生のための施設の設置又は設備等の整備を行う者

○限度額 300,000千円

○期間 10年以内（うち据置2年以内）

○利率 年0.45%

エ 「経営革新貸付（事業承継）」の要件拡充（再掲(P93)）

オ 信用保証料負担の軽減

中小企業の新たな事業展開を促進するため、事業展開融資について、信用保証協会の自主取組みによる保証料の引き下げを継続実施

カ 緊急災害復旧資金の融資期間延長

平成7年に融資実行された阪神淡路大震災における被災中小企業者向けの「緊急災害復旧資金」について、融資期間を5年延長し、中小企業者の事業再生や立て直しを支援

区分	現行	拡充後
融資期間	25年（うち据置10年）以内	30年（うち据置10年）以内

キ 「受動喫煙対策整備貸付」の新設

飲食店等による受動喫煙対策の取組を加速させるための低利融資制度を新設

○対象者 店舗内禁煙化や喫煙室整備など受動喫煙防止措置を行う者

○限度額 10,000千円

○期間 7年以内（うち据置1年以内）

○利率 年0.9%

ク 少雪に伴う「経営円滑化貸付」等の要件拡充

雪不足により影響を受けた県内中小企業者に対し、経営円滑化貸付や観光等設備貸付の要件拡充等を実施するとともに、経営円滑化貸付の保証料割引を新たに実施

ケ 新型コロナウイルス感染症に伴う要件拡充等

- ・新型コロナウイルス感染症の流行により影響を受けている中小企業者等を対象とした「新型コロナウイルス対策貸付」の新設
- ・国の危機関連保証発動に連動した「新型コロナウイルス危機対応貸付」の新設
- ・利子を含む既往債務の返済負担を軽減し、手元の流動性を確保するための「借換等貸付」の要件拡充
- ・資金フローの逼迫に対応するため、「経営活性化資金」の要件拡充

(2) 中小企業等に対する多様な資金供給

① ひょうご中小企業技術・経営力評価制度の運用

技術力や成長性を有する中小企業に対して、技術力等を評価し、数値化した評価書を発行することで円滑な資金調達等を支援

- 評価対象者 技術力等を有し、成長が期待される県内中小企業（創業後1年以上）
- 評価項目 製（商）品・サービス、市場性、将来性、実現性、収益性、経営性の各項目評価を行い、これを基に総合評価
- 手数料 標準評価型 10.5万円 *評価手数料の1/3はセンター（県）が負担
- フォローアップ施策 ・一定の評価を下回った企業について、企業負担を軽減
 - ・派遣回数3回まで企業負担1/3（4回目以降は1/2）

【R元年度実績】 評価書発行：111件 専門家派遣：5件、15回

② 設備貸与制度

ア 小規模企業者等設備貸与支援制度（割賦・リース）

小規模企業者等の創業及び経営革新等に必要な設備の導入を支援するため、機械設備の貸与（割賦販売またはリース）を実施

- 対象企業規模 従業員20人以下
- 貸与限度額 1億円
- 貸与割合 購入価格の100%以内
- 償還期間 3年以上10年以内
- 貸与損料 年0.70%～1.95%

【R元年度実績】 113件 1,339,354千円

イ 中小企業設備貸与制度（割賦・リース）

中小企業者の経営及び技術基盤の強化に必要な設備の導入を支援するため、機械設備の貸与（割賦販売またはリース）を実施

- 対象企業規模 従業員21人以上300人以下
- 貸与限度額 1億円
- 貸与割合 購入価格の100%以内
- 償還期間 3年以上10年以内
- 貸与損料 年0.70%～1.95%

【R元年度実績】 27件 760,826千円

4 大手企業、中小・ベンチャー企業、公設試験研究機関等の連携によるオープンイノベーションの推進

（1）中小企業等の技術力強化

① 工業技術センターによる技術支援

神戸市須磨区に本所及び航空産業非破壊検査トレーニングセンター、県内2カ所に工業技術支援センター（繊維：西脇、皮革：姫路）を配置し、中小企業や地場産業の技術の高度化を支援

ア 技術相談・情報提供による技術支援

- 総合相談窓口の設置

【R元年度実績】 相談件数 10,363件

- 中小企業巡回技術指導の実施

【R元年度実績】 一般企業訪問 120件、集中企業訪問 57件

- 移動工業技術センターの実施（県内各地域での研究成果発表と技術相談会等）

【R元年度実績】 開催回数7件

○技術アドバイザーの派遣

【R 元年度実績】 企業数 5 社、延べ指導日数 10 日

○ものづくり基盤技術入門研修の実施

【R 元年度実績】 参加人数 60 人

○工業技術センターの機器の解放利用、依頼試験

【R 元年度実績】 解放利用 13,524 件、依頼試験 803 件

イ 共同研究等による技術支援

○共同研究等の推進

【R 元年度実績】 研究数 89 件

○テクノトライアル事業（ものづくり試作支援事業）

【R 元年度実績】 相談件数 729 件

② 兵庫ものづくり支援センターによる技術開発、製品開発支援

ものづくり産業が集積する神戸、阪神、播磨、但馬地域にものづくり支援センターを設置し、産学官の連携による技術研究のコーディネートや機器の利用提供などを通じて中小企業の技術開発、製品開発を支援

○設置場所 神戸（県立工業技術センター）

阪神 ((一財)近畿高エネルギー加工技術研究所(AMP I))

播磨（姫路商工会議所）

但馬（県立但馬技術大学校）

【R 元年度実績】 技術相談・指導件数 1,595 件、機器利用件数 736 件

5 ものづくり、知識集約型サービス業（情報通信・対事業所サービス等）の強化・育成

(1) 優良企業の顕彰・育成

① ひょうごオンリーワン企業の創出支援

ア ひょうごオンリーワン企業の認定

優れた技術・ノウハウが国内外で評価され、高いシェアを占めている中小企業を「ひょうごオンリーワン企業」として認定・顕彰

【R 元年度実績】 ひょうごオンリーワン企業の認定：8 社

企業名	所在地	企業名	所在地
赤穂化成(株)	赤穂市	スイコー(株)	尼崎市
(株)大野社	神戸市	播州調味料(株)	姫路市
極東産機(株)	たつの市	播州電装(株)	加古川市
ケンミン食品(株)	神戸市	ムネ製薬(株)	淡路市

イ オンリーワンを目指す企業への支援

優れた技術を持ち、オンリーワンを目指す中小企業の販路開拓等の取組を支援

○補助率 1/2

○補助上限額 1,000 千円

【R 元年度実績】 オンリーワンを目指す企業への支援：7 社

② 顕彰事業等による技術振興

ア ひょうごNo.1ものづくり大賞

県内に集積したものづくり企業の優れた技術及び製品・部材を顕彰し、県内外に情報発信

【R 元年度実績】 知事賞 3 件、選考委員会特別賞 5 件

イ ひょうごNo.1ものづくり大賞販路開拓支援事業

ひょうご No.1 ものづくり大賞の受賞企業が実施する、展示会への出展や P R 動画制作等の販路開拓の取組、専門家の助言・指導等による経営改善、技術改良等の取組を支援

○補助率 1/2 以内

○限度額 1,000 千円

【R 元年度実績】 3 社

ウ 職域における創意工夫者表彰の選考

職域における科学技術の改善向上に優れた成績を修めた勤労者を顕彰し、創意工夫の重要性を発信

【R 元年度実績】 知事賞 80 名

(2) IT企業の進出支援

① IT戦略推進事業

イノベーションの創出や、人口減少地域における情報通信産業の振興と地域活性化を図るため、県内対象地域で新たに IT 事業所を開設する事業者等に対し、事業所の立上げに必要となる経費を補助

○支援内容

対象経費	補助期間	IT 事業所開設	高度 IT 事業所開設 ※1	IT カリスマによる事業所開設 ※2
建物改修費 空き家改修の場合	開設時	1,000 千円	1,000 千円	同左
事務機器取得費		+1,000 千円	+1,000 千円	
賃借料	3年間	500 千円	500 千円	同左
通信回線使用料		600 千円/年	600~900 千円/年 <地域により異なる>	
人件費(高度 IT 人材)		600 千円/年	600 千円/年	
人件費(高度 IT 人材) 空き家改修の場合		1,000 千円/人・年	2,000 千円/人・年	10,000 千円/人・年
補助上限額(3年間)		8,100 千円	12,000 千円	36,000 千円
空き家改修の場合		9,100 千円	13,000 千円	37,000 千円

対象地域	政令市・中核市・阪神南地域以外	全県
補助率	1/2 (県) <人件費は定額>	1/2 (県 1/4、市町 1/4) <人件費は定額(県:市町=1:1)>

※1 高度 IT 事業所：高度 IT 技術を有し、今後成長が見込まれる起業家等

※2 IT カリスマ：IT 事業所の集積、成長型起業家等の育成、県内 IT 事業所へのアドバイス、コーディネート等ができるカリスマ人材

【R 元年度実績】 33 件 (うち新規 11 件)

(3) 最新技術の先行的利活用による効果検証

① ドローンの先行的利活用の実施

県・神戸市連携のもと、全庁横断的に最新技術を用いたドローンで目視外飛行を先行的に実施し、その効果を示すことで、次世代産業の創出、県民の更なる安全安心な暮らし、行政サービスの向上・業務の効率化の実現を目指す

- 実施内容
- ・県内の多様なフィールド（森林、河川等）で先行的利活用を行う。
また、レベル3での目視外飛行を実施
 - ・有識者からの意見も聴取し、レベル3飛行の結果検証、レベル4実施に向けた課題の共有及び対応策を検討
 - ・県民、事業者の意識醸成のための普及啓発を実施

強化策Ⅱ 「環境変化に対応し、挑戦する人材」

プロジェクト4 未来の担い手、技術革新を担う人材の呼び込みによる、兵庫の飛躍に向けた働き手の確保

1 若者の県内就職及び定着の推進

(1) 若者の県内就職の促進

<若者と県内企業とのマッチング>

① 中小企業就業者確保支援事業（兵庫型奨学金返済支援制度）

県内中小企業の人才確保を図るとともに、若者の県内就職及び定着を促進するため、従業員の奨学金の返済負担軽減制度を設ける県内中小企業を支援

同等の事業を実施している京都府との相互連携として、新たに京都府本社企業の県内事業所を補助対象に追加

- 補助対象
- ・従業員の奨学金返済負担軽減制度を有する県内中小企業
 - ・京都府就労・奨学金返済一体型支援事業の対象となっている京都府本社の企業の県内事業所

- 支援対象者
- 上記企業に勤める者で、以下の要件を全て満たす者
- ・正社員であること
 - ・30歳未満（申請年度末時点で29歳以下）
 - ・日本学生支援機構の奨学金を受給し、返済義務のある者
 - ・申請時点での県内事業所に勤務する者
 - ・申請時点での当該企業就職後5年以内の者

- 支援期間 対象者1人につき、最長5年

- 補助額 奨学金年間返済額の1/3又は企業支給額の1/2（上限：6万円/年）

【R元年度実績】 導入企業数143社、支援対象者数383人

② 企業情報発信支援事業

新規学卒者等の採用に苦労している中小企業の人材確保を図るため、採用力・定着力強化に向けた取組を実施する県内中小企業を支援

- 補助対象 県内に本社又は主たる事業所を置く中小企業
- 対象経費 自社 HP 改修費、民間求人メディア掲載料等、民間就職フェア出展料
- 補 助 額 1/2 (上限 : 20 万円/社)

【R 元年度実績】 補助企業数 101 社、補助金額 14,728 千円

③ ひょうごで働く！UJターン広報・就職促進事業

大学生・転職者等の県内就職を促進するため、国の地方創生推進交付金を活用して、県内企業の魅力や「ひょうごで働く！プロジェクト」の施策内容のPRを図り、若者と県内企業のマッチング及び東京 23 区からの移住を伴う就業・起業を支援

ア 「ひょうごで働く！マッチングサイト」の開設・運営

県内企業の求人情報や「ひょうごで働く！プロジェクト」関連施策情報を掲載するマッチングサイトを開設・運営

イ 効果的な求人広告の作成支援

マッチングサイトに求人広告を掲載する企業に対し、効果的な内容になるよう作成を支援

ウ 「ひょうごで働く！キャラバン」の実施

県内外の就職支援協定締結大学の協力を得て、県内及び首都圏の大学生等に直接「ひょうごで働く！プロジェクト」関連施策情報や県内中小企業で働く魅力を発信

エ 東京 23 区からの就業・移住の促進

就業・起業による移住や中小企業の人材確保を促進するため、東京圏からの移住者に移住支援金を支給

○補助単価 1,000 千円/世帯、500 千円/単身 (国 1/2、県 1/4、市町 1/4)

○支給要件 以下の要件を全て満たす者

- ・直近 10 年間のうち通算 5 年以上 23 区に在住または在勤していた者
- ・移住後 5 年以上の継続居住意思のある者
- ・県が支援対象と認めた企業に就職した者又は東京 23 区から移住し社会的分野の起業をした者

【R 元年度実績】

マッチングサイト実績

登録法人数 320 社、累計掲載求人数 450 件、累計閲覧数 36,512 件

企業支援実績（効果的な求人広告作成セミナーの実施（2回））

R1.10.10 開催（神戸会場） 参加企業数 38 社、参加者数 46 人

R1.10.18 開催（姫路会場） 参加企業数 27 社、参加者数 32 人

④ 「ひょうご応援企業」等による合同就職面接会の開催

「ひょうご応援企業」等と学生のマッチングの機会を提供するため、県内で合同就職面接会を開催

【R 元年度実績】 R1.8.1 開催 参加企業数 60 社、参加者数 140 人

⑤ 県外でのU J I ターン合同企業説明会の開催

大学卒業時の地元就職と県外からのU J I ターンを促進するため、大阪で合同企業説明会を開催

【R 元年度実績】

- ・R1. 6. 9 開催 参加企業数 40 社、参加者数 165 人
 - ・R1. 10. 22 開催 参加企業数 30 社、参加者数 81 人
 - ・R2. 3. 16 開催 (開催中止) ※1 参加者数 448 人※2
- ※1 開催中止は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため
代替として、委託先が運営する就職情報サイトに兵庫県特集ページを
設け、企業情報掲載 (20 社)
- ※2 就職情報サイトに掲載された企業のエントリーページアクセス数

<大学と連携した就活支援事業の実施>

① 県内大学と連携した就活支援事業

- ・県内学生の県内企業への就職を促進するため、就職支援協定締結大学が行う企業説明会等を支援
- 補助率 定額 (大学の規模に応じて 300 千円または 500 千円)

【R 元年度実績】 補助件数 : 14 大学

- ・県内大学と連携し、県と協定を締結する金融機関の協力のもと、県内企業見学会、企業研究会・セミナーを実施

【R 元年度実績】 みなし銀行×武庫川女子大学 参加企業数 26 社、参加者数 250 人 SMB C ×甲南大学 参加企業数 22 社、参加者数 354 人 但馬銀行×県内大学 参加企業数 27 社、参加者数 47 人

② 大学生インターンシップ推進事業

中小企業の人材確保を図るため、大学生等を対象としたインターンシップ[°]を実施。新たにインターンシップ[°]生の受入れにあたり旅費・宿泊費を支給する県内中小企業を支援

【R 元年度実績】 実施学生数 94 校 578 人、受入企業数 64 社

③ 女子学生と企業のプレマッチング支援事業

県内 10 大学から対象を 37 大学に拡大し、企業研究を充実

<県内企業の魅力発信>

① 高校・大学生「兵庫就活」促進事業

○高校生対象

高校生の県内就職を促進するため、県内企業の情報を掲載した企業ガイドブックを高校 2 年生全員に配付し、県内企業情報の情報を発信。新たに女性が活躍する企業特集を掲載

- ・配付対象 高校 2 年生全員 (発行 53,000 部、WEB にも掲載)
- ・掲載企業 県内に本社を置く中小企業 (計約 340 社)

○大学生対象

- 大学生が県内企業への理解を深めるための情報提供、研究活動の支援を実施
- ・企業課題研究事業の実施
 - ・企業ガイドブックのWEB版の作成・掲載

② 「ひょうご応援企業」就職支援事業

兵庫で就職を希望する若者を積極的に採用する企業を「ひょうご応援企業」として登録、ひょうご・しごと情報広場ホームページでの企業紹介の実施 等

【R元年度実績】 登録企業数（累計）430社

<就職支援の拠点の運営>

① 「ひょうご・しごと情報広場」の運営

「総合相談・情報提供」窓口を設置し、職業相談、しごとに関する情報提供、若年者への相談・キャリアカウンセリングから就職に至るワンストップサービスを実施

○場 所 神戸クリスタルタワー12階（神戸駅前）

○業務内容 併設しているハローワークとの連携による就職支援

専門職員によるキャリアカウンセリング

就活トレーニング、模擬面接等のセミナー 等

【R元年度実績】

相談件数 (件)	求職者	求人 (企業側)	キャリアカウンセリング 件数(件)	各種セミナー 受講者数 (人)	就職者数 [うち正規雇用] (人)
19,833	18,284	1,549	16,720	1,085	2,248 [1,904]

② 「カムバッくひょうごハローワーク」の運営

「カムバッくひょうご東京センター」に職業紹介を行う「カムバッくひょうごハローワーク」を併設し、移住相談と就労相談を一体的に実施

○場 所 カムバッくひょうご東京センター内（東京都千代田区大手町）

○業務内容

- ・ハローワークの求人情報等に基づく職業紹介

- ・首都圏大学への兵庫県企業PR

- ・UJTIターンイベントでの出張職業紹介

- ・各県機関と連携した支援情報の提供 等

【R元年度実績】 新規求人者数(実人数) 81人

相談件数(延べ) 134件

就職内定者数(実人数) 9人

<安定的かつ良質な雇用の創造>

① 事業拡大雇い入れ人材確保支援事業

中小企業がひょうご次世代産業高度化プロジェクトに関連する事業拡大等を行う際の従業員の雇い入れを支援

- 補助上限 100万円/人(理系の博士・修士取得者、情報処理技術者(高度試験)等)
 70万円/人(理系の学士、準学士取得者、関連業務経験者(7年以上)、
 情報処理技術者(基本試験)等)
 50万円/人(文系の博士・修士取得者、工業高校(工業学科系高校)
 卒業者、関連業務経験者(5年以上)等)

【R元年度実績】 補助件数 85人(47社)

② ひょうご若者就労支援プログラム事業の実施

学卒未就職者等の就職活動を支援するため、企業面接準備研修や就労体験等を行い、正規雇用につなげる人材育成プログラムを実施

- 対象者数 100名(一般就労コース40名、次世代産業コース60名)

【R元年度実績】

コース名	プログラム参加者数	就職に結びついた人数 (うち正規雇用)
一般就労コース	38名	25名(16名)
次世代産業コース	42名	20名(8名)

2 技術革新対応人材の県内就職の推進

(1) 次世代産業分野における県内雇用の創出

① ひょうご次世代産業高度化プロジェクトの推進(再掲(P77))

3 兵庫を担う多様な人材の活躍推進

(1) 女性の雇用就業の支援

① 女性就業いきいき応援事業

再就業や起業に向けたセミナーを開催し、具体的スキルや心構えの習得、就業後も助け合える仲間づくりを支援

【R元年度実績】

再就職応援セミナー			起業応援セミナー				合計
就職セミナー講座	短期パソコン・中期パソコン講座	長期パソコン講座	小計	仕事づくり	在宅	営業準備	
185人	151人	20人	356人	29人	76人	102人	207人
							563人

② 育児・介護等離職者再就職準備支援事業

再就職に必要な知識・スキルを習得するため受講した教育訓練経費の一部を助成

- 補助率 教育訓練に要した経費の20%

- 限度額 10万円

【R元年度実績】 補助件数: 10件

③ 女子学生と企業のプレマッチング支援事業(再掲(P100))

④ ものづくり分野における女性就業の促進

ものづくり中小企業における人手不足解消、ダイバーシティ経営による競争力強化を図るため、最大の潜在力である女性のものづくり分野への就業を促進

ア 女性に多い文系人材が活躍できる業務の仕分け

- ・文系女子でも可能な業務を切り出す（CAD等設計支援や工程管理）
- ・人事担当者向けの人材育成研修や文系女性に対するものづくり入門講座の実施による文系女性の就業促進

イ 女性学生向け“ものづくり”イメージアップ（女性活躍企業の情報発信）

⑤ 多様な主体によるコミュニティ・ビジネス・インターンシップ事業

専業主婦や子育て等により離職した女性を就業につなげるため、生きがいしごとサポートセンターにおいて、新たに女性向け起業セミナーやフォーラム等を実施

(2) 高齢者の雇用就業の拡大

① ひょうご生涯現役促進事業

ア 就労相談窓口の設置

○設置場所 ひょうご・しごと情報広場（クリスタルタワー12階〔神戸駅前〕）
市町シルバー人材センター8ヶ所
神戸を除く9県民局・県民センター

○業務内容 オンライン端末を活用し、求人募集情報等の提供
個々の就労ニーズに合わせた多様な働き方への相談対応
求人情報の開拓（高齢者を雇用する企業の掘り起こし）

イ 就労支援事業の実施

○企業、高齢者向け雇用促進セミナーの実施
○企業とのマッチングを支援する短期就業体験事業 等

【R元年度実績】 就労相談 2,139件

企業向けセミナー 3回、参加企業数 103社
高齢者向けセミナー 7回、参加者数 173名

② シルバー人材センター事業

県内のシルバー人材センターを指導・育成する公益社団法人兵庫県シルバー人材センター協会の運営を支援

【シルバー人材センター設置状況】

センター数	市町数
34	29市12町

③ シルバー人材センター広域連携推進事業

県内のシルバー人材センター事業の広域連携強化と市町を越えた広域受注開拓を促進する兵庫県シルバー人材センター協会の取組を支援

【R元年度実績】 ポスティング事務の広域受注 12センター

④ 高齢者コミュニティ・ビジネス離陸応援事業（再掲(P89)）

(3) 障害者のしごとの充実

① 障害者雇用拡大支援事業

障害者雇用に関する理解促進を図るため、中小企業等に対する相談支援やワークショップの開催、ガイドブックやDVDなどの啓発資料を活用した普及啓発を実施

【R元年度実績】

訪問	電話・来所	セミナー等
108件	38件	8回

② 特例子会社・事業協同組合設立等助成金事業

特例子会社・事業協同組合を設立する場合や、特例子会社・事業協同組合の新たな障害者雇用に要する経費を助成

○支援内容

	特例子会社 設立助成	事業協同組 合設立助成	雇用拡大助成【拡】	
条件	特例子会社 の設立と認 定	事業協同組 合の設立と 認定	障害者の新規雇用	重度身体・知的障害者、 精神障害者の新規雇用
対象	中堅企業 中小企業	中小企業	特例子会社・事業協同組合	
助成率	1/2	2/3	1/2	
上限額	5,000千円	5,000千円	1人目の雇用／1,000千円 2人目以降の雇用／100千円	1人目の雇用／2,000千円 2人目以降の雇用／500千円

【R元年度実績】 補助件数(雇用拡大助成) 5件、新規雇用者数 10人

③ 障害者雇用就業・定着拡大推進事業

障害者就業・生活支援センターに推進員を配置し、きめ細かな就職相談や実習・就職先の開拓、就労ニーズが高まる精神・発達障害者に対する支援等を実施

【R元年度実績】

区分	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
登録者数(人)	556	3,098	1,643	338	5,635
就職者数(人)	47	256	171	16	490

区分	障害者関連	事業主関連	合計
相談件数(件)	6,269	2,815	9,084

④ 障害者体験ワーク事業

障害者の職場体験を実施するとともに、障害者雇用促進アドバイザーによる支援や特別支援学校への出前講座・出前ワーク(軽作業)、体験ワーク発表会を実施

【R 元年度実績】

登録事業所数	受入事業所数(延べ)	職場体験参加者	職場見学参加者
677 事業所	269 事業所	240 人	69 人

※R1 参加者の内訳 職場体験：福祉施設等 239 人、学校 1 人
職場見学：福祉施設等 69 人、学校 0 人

(4) 保護観察対象者等の雇用・定着促進

① 刑務所出所者等雇用導入促進事業

刑務所出所者等を新たに雇用する民間事業者（協力雇用主）に対して、神戸保護観察所等と連携して最大4ヶ月間の給与、研修費の一部を助成

○補助対象 国の刑務所出所者等就労奨励金の支給対象となった協力雇用主

コレワークを通じて矯正施設出所者を雇い入れた雇用主

○補 助 額 (給与7万円+研修費1万円) × 4ヶ月=最大32万円

【R 元年度実績】 補助実績 11 人(11 社)

② 保護観察対象者等定着支援事業

保護観察対象者等の就業機会の拡充等の支援活動を行っているNPO法人兵庫県就労支援事業者機構に定着支援員を配置

【R元年度実績】 支援対象者数124人

③ 保護観察対象者等就労支援プログラム事業

民間人材教育会社等が保護観察対象者等を1か月間雇用し、研修や職場体験、就職支援を実施

○実施内容 ビジネス基礎研修（座学）：1週目

職場体験：2週目～1か月

就職支援：最大4か月まで

【R 元年度実績】 プログラム参加者数5名

(5) 地域における多様な就業への支援

① コミュニティ・ビジネス等への支援

コミュニティ・ビジネス等への支援を行う県内6ヶ所の生きがいしごとサポートセンターに対し、起業・就業支援に必要な経費を補助

○補 助 率 10/10 以内(但し、一部特定事業 1/2 以内)

○補 助 額 1団体あたり 542 万円～933 万円

【R 元年度実績】

就業・起業支援			相談情報提供	ゼミナール等開催	
就職者数 ①	起業支援数 団体数	雇用創出者数 ①+②		実施回数	参加者数
458 人	129 団体	754 人	1,212 人	15,855 件	107 回
					1,029 人

② 県内外外国人就労調整窓口の設置

入管法の改正による外国人労働者の受入拡大に対応するため、県庁内に調整窓口を設置し、国関係機関との連絡調整・情報共有や庁内横断の調整を実施

プロジェクト5 一人ひとりが、自らの状況に応じて働きやすい環境づくり

1 多様な働き方の推進

(1) だれもが働きやすい環境づくり

① 中小企業育児・介護等離職者の再就職支援

育児・介護等による離職者の早期再就職を促進するため、当該離職者を雇用した事業主に対し助成

- 対象
 - ・企業全体 300人以下
 - ・事業所規模 株式会社等：100人以下の事業所
 - 上記以外：20人以下の事業所
- 支給要件 下記に該当する対象労働者を雇用
 - ・過去に企業等を結婚・出産・育児・介護等により離職した者
 - ・離職期間が6年未満である者（離職理由が妊娠・出産・育児の場合、末子出産後2年未満である者）
- 支給額 正社員 500千円/人
短時間勤務正社員 400千円/人
非正社員（フルタイム） 200千円/人
非正社員（フルタイム以外（社会保険被保険者に限る）） 100千円/人
※ 国の両立支援等助成金（再雇用者評価待遇コース）の対象となる場合は差額を支給

【R元年度実績】 31件

② 中小企業育児・介護代替要員の確保

育児・介護による離職を防止し、就業継続を支援するため、育児・介護による休業者及び短時間勤務制度利用者の代替要員の雇用に要する賃金の一部を助成

- 対象
 - ・企業全体 300人以下
 - ・事業所規模 株式会社等：100人以下の事業所
 - 上記以外：20人以下の事業所
- 対象労働者 同一企業等に引き続き1年以上勤務している従業員 等
- 支給額 代替要員の賃金の1/2
- 支給上限額 休業コース 月額100千円、総額1,000千円
短時間勤務コース（育児） 月額 25千円、小学3年生まで
短時間勤務コース（介護） 月額100千円、総額1,000千円

【R元年度実績】 93件

2 ワーク・ライフ・バランスの推進

(1) 政労使一体となったワーク・ライフ・バランスの推進

① 「ひょうご仕事と生活センター」事業等の実施

ワーク・ライフ・バランス（WL B）の取組を全県的に推進するため、「ひょうご仕事と生活センター」（神戸市中央区）において、各種事業を実施

ア 普及啓発・情報発信事業

- ホームページの運営、情報誌の発行、WL Bフェスタの実施 等
- WL B推進企業の拡大と取組の充実への支援
- 阪神事務所（尼崎市中小企業センタービル内）・姫路事務所（県立姫路労働会館内）の設置
- 阪神・姫路地域でのシンポジウム開催

イ 相談事業

- ワンストップ相談の実施、専門家等の派遣
- 従業員意識調査の実施
- 健康管理相談の実施

【R元年度実績】 専門家等派遣件数 1,771件

ウ 研修企画・実施事業

- 各企業等の課題等を踏まえた研修の企画・実施
- キーパーソン養成講座の開催
- 宣言・認定企業向け研修会の開催
- 県民局・県民センターや地域の商工会議所等と連携したセミナーの開催

【R元年度実績】 研修企画実施 209件

② 仕事と生活の調和推進環境整備支援事業

WL B推進のための職場環境整備(ハード整備)を支援するため、整備費の一部を助成

- 対象事業主 従業員300人以下の事業主 等
- 対象経費
 - ・女性等様々な人材の職域拡大のための環境整備
(専用の更衣室、高齢者の負担軽減補助機器 等)
 - ・多様な働き方を導入するための環境整備
(事業所内託児スペース、在宅勤務システム構築 等)
 - ・補助率 1/2 (上限2,000千円)

【R元年度実績】 23件

③ 中小企業従業員福利厚生支援事業

中小企業の人材確保を支援するため、中小企業従業員共済制度（ファミリーパック）において、健康分野の補助拡充と加入促進への支援を拡充

○健康分野メニューの補助拡充

- ・インフルエンザ予防接種料補助 2,000円／人 → 3,000円／人

【R元年度実績】 8,308人

※配偶者を含め最大6,000円

- ・人間ドック利用料補助 10,000円／人 → 20,000円／人
- 【R元年度実績】 398人 ※配偶者を含め最大40,000円
- 加入促進への支援拡充
 - ・専門嘱託員（3名）を新設し、重点的な加入促進を展開
 - ・非正規雇用労働者の福利厚生制度の充実を図るため、会費の1/2を新規加入から3年助成し、加入を促進

プロジェクト6 人生100年時代と技術変化の加速に応じた切れ目ない学び直しの場による、生涯現役の産業人材育成

1 産業構造変化に伴う新たな専門性を身につける職業能力開発

(1) 求職者に対する能力開発の推進

① 公共職業能力開発施設で行う能力開発の推進

5つの公共職業能力開発施設において離転職者、新規学卒者、障害者等の求職者に対する職業能力開発を実施

- | | |
|---|--|
| <input type="radio"/> ものづくり大学校（姫路市） | <input type="radio"/> 但馬技術大学校（豊岡市） |
| <input type="radio"/> 神戸高等技術専門学院（神戸市西区） | <input type="radio"/> 障害者高等技術専門学院（神戸市西区） |
| <input type="radio"/> 兵庫障害者職業能力開発校（伊丹市） | |

② 民間機関等を活用した能力開発の推進

専門学校等の民間教育訓練機関を活用し、介護・福祉、情報通信分野等を中心に戦略的訓練を実施

ア 離職者訓練の実施

離転職や再就職を目指す求職者等の就職支援のため、労働需要が高い介護・福祉、IT分野等を拡充するなど、多様な職業訓練を実施

- 長期（2年）高度人材育成コースや中高年対象ITコースの実施

【R元年度実績】 2,284人(203コース)

イ 離職者訓練（障害者対象）の実施

障害者の多様なニーズに対応した委託訓練を、一般企業や障害者雇用促進法上の特例子会社等を委託先として実施

【R元年度実績】 訓練受講者数 122人(37コース)

(2) 企業在職者の職業能力開発への支援

① 企業在職者に対する能力開発の推進

指導者不足や設備面から、単独では技能向上のための取組が困難な中小・零細企業のニーズを踏まえ、在職者（特に若手・中堅の技能者）を対象に、IoT等最先端技能の習得を目指すコースを新設するなど、各種資格取得や技能レベルに応じたきめ細かな訓練を実施

【R元年度実績】 1,147人受講

2 ものづくり人材の育成

(1) ものづくり大学校におけるものづくり人材の育成

① ものづくり体験館体験事業の実施

中学生等に対し、ものづくりへの関心を高めるとともに、職業としてのものづくりの魅力と奥深さを伝えるため、本格的なものづくり体験の機会と場を提供

○実施内容 ものづくり体験学習

【R元年度実績】 96校 11,043人参加

ものづくり体験講座、特別展・企画展等

【R元年度実績】 130回開催

(2) 技能の振興と職業観の醸成の促進

① ものづくり技能フェスタの開催

技能体験等を通じ、若者にものづくりの楽しさやすばらしさを伝承するため、ものづくり技能フェスタを開催

【R元年度実績】

○開催日 令和元年11月9～10日

○開催場所 神戸国際展示場

○内容 作品展示、即売、実演、技能体験、ファッションショー 等

○参加団体 42団体8施設(石工、左官、畳、造園、洋裁、日本調理 等)

○入場者数 約20,000人

② 若者の技能検定受検の促進

兵庫県職業能力開発協会との連携のもと、技能検定を実施するとともに、若者の技能検定受検を促進するため、実技試験受験料の一部を減免

【R元年度実績】 2,936人

強化策Ⅲ 「地域の魅力で沸き起こる交流」

プロジェクト7 多文化共生の先進地としての強みを生かし、海外の成長活力を捉える国際交流の推進

1 國際的な事業展開の推進

(1) 海外市場への販路拡大等の支援

① ひょうご海外展開支援プロジェクトの推進

ア ひょうご海外ビジネスセンターの運営

ひょうご国際ビジネスサポートデスクや海外事務所等を活用して、中小企業の海外展開をワンストップで支援

○場所 神戸商工貿易センタービル4階

○機能 海外での販路開拓、拠点設立を検討する中小企業への相談対応 等

【R 元年度実績】 相談件数 434 件

イ ひょうご国際ビジネスサポートデスクの運営

○場所 中国（広州・上海・大連）、ベトナム（ホーチミン・ハノイ）、
インド（デリー）、インドネシア（ジャカルタ）、タイ（バンコク）、
シンガポール、フィリピン（セブ）

○機能 現地ビジネス関連情報の提供、現地専門家の紹介 等

ウ ひょうご海外展開支援セミナーの開催

ひょうご国際ビジネスサポートデスクやジェトロ神戸、金融機関、外国政府機関等と連携し、海外展開のためのセミナーを開催

【R 元年度実績】 開催実績 16 回、参加者人数延べ 1,142 人

エ 経済ミッションの派遣

○内容 現地経済団体・企業との意見交換、経済セミナーの開催 等

【R 元年度実績】 ロシアへ派遣（R1.8.18～23）

② 中小企業の海外展開に向けた実現可能性調査への支援

中小企業が実施する、アジア新興国等における販路開拓や新たな拠点設立等の実現可能性調査の経費に対して助成

○補 助 率 1/2 以内

○限 度 額 1,000 千円以内

【R 元年度実績】 34 件

(2) 新興国等との経済交流の強化

① 地域間経済連携の促進

ア 広東省との経済連携プロジェクトの推進

友好提携先の広東省との経済交流、双方の企業活動の促進を図るため、「日本広東経済促進会」を開催

【R 元年度実績】 第 18 回年次会を淡路夢舞台国際会議場にて開催
(令和元年 11 月 21～22 日)

イ ベトナム・ホーチミン市との経済連携プロジェクトの推進

友好提携先のベトナム・ホーチミン市との経済交流、双方の企業活動の促進を図るため、「兵庫県・ホーチミン市経済促進会議」を開催

【R 元年度実績】 第3回経済促進会議を淡路夢舞台国際会議場にて開催
(令和元年11月5日)

ウ 環日本海との経済交流の推進

中小企業の中国等環日本海におけるさらなる経済交流を促進するとともに、事業展開を支援

エ 国際経済交流テクニカルビジットの受入

本県友好提携先や在日外国公館などを窓口として、海外からビジネス代表団を受入れ、企業訪問や交流会開催等を通じ、ビジネス交流を促進

【R 元年度実績】 受入団体数 11団体

2 海外からの企業立地の促進

(1) 外国・外資系企業の立地・定着の促進

① 国際経済拠点の形成推進

産業立地条例により「国際経済地区」を指定し、外国・外資系企業等に対する立地支援策を講じ、国内外企業が活発に活動・交流する国際経済拠点の形成を推進

- 実施内容
- ・外資系企業向けオフィス賃料補助
 - ・外資系企業設立支援補助
 - ・産業立地促進補助
 - ・税の軽減措置

【R 元年度実績】 外国・外資系企業の進出件数 19件

3 国際交流基盤の充実・活用

(1) 海外事務所・国際ネットワークの充実・活用

① 海外事務所の運営

世界の活力を兵庫へ呼び込む県の総合窓口として、また友好・姉妹州省等とのネットワークを強化し、総合的な国際施策を推進するため海外事務所を設置

- 設置数 5か所(ワシントン州、西オーストラリア州、パリ、ブラジル、香港)

(2) 友好・姉妹州省等との交流推進

① ハバロフスク地方友好提携50周年記念事業

令和元年度にハバロフスク地方との友好提携50周年を迎えることから、兵庫県とハバロフスク地方が、これまでの幅広い分野にわたる交流の成果を確認し、両県地方の友好交流を促進

- 内容 兵庫県友好代表団等の派遣

○場所 ハバロフスク地方ハバロフスク市ほか

【R元年度実績】 令和元年8月19日～22日

② 北東アジア地域自治体連合への参画

北東アジア地域の自治体間の相互の信頼関係の構築、交流協力ネットワークの形成、地域全体の発展を目指して、北東アジア地域自治体連合に参画

(3) 人材交流の推進

① 県内企業海外事業展開に係る留学生活用事業

外国人留学生の県内企業等におけるインターンシップ、県内中小企業・留学生の就職マッチング事業等を実施

【R元年度実績】

講座名等	実施日	会 場	参加者・企業等
留学生インターンシップ	6/8～9/21	兵庫国際交流会館 各企業等	参加留学生 34名 実施企業 22社
合同企業説明会	6/22	神戸ワールドホール	参加留学生 478名 参加企業 41社
但馬方面企業見学バスツアーアー	9/16～17	但馬方面の企業等	参加留学生 31名
外資系企業によるグローバル人材育成セミナー	9/19	キャタピラージャパン 合同会社	参加留学生 27名
留学生のための日本の就職活動 Q&A講座	6/12、6/15、7/6 10/9	兵庫国際交流会館 セターブラザ西館6階	参加留学生 282名 参加企業 40社
ビジネス日本語講座	6/6、6/12、6/29	神戸商工貿易セターブ 兵庫国際交流会館	参加留学生 96名

(4) 多文化共生社会の実現に向けた生活環境の整備

① ひょうご多文化共生総合相談センターの開設

改正入管法の施行に伴い、地方公共団体に求められる多文化共生総合相談ワンストップ機能を有するセンターとして外国人県民インフォメーションセンター（平日の相談を実施）を拡充し「ひょうご多文化共生総合相談センター」を開設

ひょうご多文化共生総合相談センター

平 日 対 応：月～金 9:00～17:00 ⇒ 外国人県民インフォメーションセンター

神戸クリスタルタワー6F

週 末 対 応：土、日 9:00～17:00 ⇒ NGO 神戸外国人救援ネットに委託

ア 外国人県民相談の実施

NGOと連携し、土日も電話通訳を活用した外国語による生活相談を実施（対面相談にも対応）

イ 11言語対応の実施

外国人県民インフォメーションセンター、週末相談とも相談員対応に加え、三者同時通訳サービス等を活用し、11言語に対応（日本語、英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、韓国語、カタラニ語、インドネシア語、タイ語、ペルル語）

【R元年度実績】 相談件数2,868件

（日本語338件、英語428件、中国語241件、スペイン語1,440件、
ポルトガル語266件 他）

② 県内在住ベトナム人相談の支援

急増する県内在住ベトナム人を対象とした姫路市による相談窓口設置を支援

【R元年度実績】 相談件数111件

プロジェクト8 自然、文化、スポーツなど五国を織りなす多様で豊かな地域資源を生かした誘客の拡大

1 海外からの誘客促進

（1）海外からの誘客の促進

① ゴールデンスポーツイヤーズを活かしたインバウンド誘客の促進

ラグビーワールドカップ 2019 日本大会、東京 2020 オリンピック・パラリンピック、ワールドマスターズゲームズ 2021 関西と続くゴールデンスポーツイヤーズを活かした、兵庫への誘客の促進

ア 外国人旅行者への旅ナカ（日本旅行中）対策事業

試合観戦などで日本に滞在する外国人旅行者を兵庫周遊に誘導

○事業内容 CNN 放送を利用したホテル客室への動画配信（9～11月）

外国人向けスマートフォンへの観光情報プッシュ配信（9～11月）

プロモーションツール（多言語パンフレット）の作成

イ 海外事務所を活用した欧州でのPR事業

ラグビーワールドカップ神戸開催試合で特に関心が高まる欧州向けにプロモーションを実施

○内 容 兵庫観光セミナーの開催

○対 象 現地旅行エージェント

○日 程 7月15日 英国（エдинバラ）

7月17日 英国（ロンドン）

7月19日 アイルランド（ダブリン）

ウ 世界的なオンライン旅行社と連携した誘客促進事業

エクスペディアの海外ウェブサイトに特設ページを設定し、兵庫の観光情報掲出をラグビーワールドカップで来日が期待される欧米やオーストラリアを中心に行き

○対象国・地域 米国、オーストラリア、英国、フランス、ドイツ（5月20日～7月19日）、米国、香港（8月15日～10月14日）

② 東南アジア等ワールドワイドな誘客促進

ア 多言語観光ウェブサイトによる情報発信事業の実施

東南アジア(インドネシア・マレーシア)向け多言語観光ウェブサイトを整備、PRを実施

(2) 国際ツーリズムの推進

① ひょうごゴールデンルートの推進(東側ルートの魅力づくり)

従来の「ひょうごゴールデンルート」(神戸、姫路城、城崎温泉)のPRに合わせ、大阪や京都からのアクセスに優れた東側ルート(尼崎城、宝塚歌劇、城下町風情豊かな出石など)への周遊拡大に向け、オンライン情報誌を活用した体験型観光の情報発信や、体験プログラムの創出支援などの取組を展開

ア “体験・兵庫”発信事業

東側ルートなど本県観光の多彩な魅力をオンライン情報誌「GOOD LUCK TRIP ~Hyogo Golden Route~」でPR

イ 体験観光促進支援事業

日本遺産や伝統芸能、田舎暮らし体験、スポーツツーリズムなど地域の魅力を活かした体験型プログラムの創出・ツアー造成を支援

○補助率 1／2

○補助上限額 1,000千円

【R元年度実績】 補助件数 11件

ウ WeChat 等を活用した中国プロモーション事業

中国で多大なユーザーを持つコミュニケーションアプリ「WeChat」(ウィーチャット)を活用し、観光情報等を発信

【R元年度実績】 記事制作・配信(月2回)、フォロワー獲得キャンペーン

② 外国人旅行者の関心に応えるプロモーションの展開

ア ひょうご国際観光デスクの設置

韓国、台湾、香港、タイに「ひょうご国際観光デスク」を設置し、現地メディア向けの情報発信や現地旅行博覧会への出展などきめ細やかなプロモーションを展開

イ ビジット Hyogo 連携の推進

アジアや欧米等をターゲットに、国、他府県、民間事業者等と連携したテーマ設定によるプロモーションを展開して、兵庫の魅力をPR

【R元年度実績】

(1) タイ

時期：11月14日(木)～11月20日(水)

内容：旅行エージェント・メディア招聘

(2) 米国

時期：10月16日(水)～21日(月)

内容：メディア招聘

(3) 中国

時期：2月3日(月)～6日(木)

内容：旅行エージェント招聘

(4) 欧米

時期：10月1日(火)～4日(金)

内容：旅行博「トッププレサ 2019」出展(仏)

ウ 3府県広域連携等による誘客促進

兵庫・京都・鳥取の3府県が連携し、山陰海岸ジオパークを中心とした日本海側地域の観光資源をPRすることにより、当該エリアへの誘客を促進

【R元年度実績】

○実施時期：令和2年1月14日(火)～20日(月)

○実施内容：フランスメディアの招聘

エ 関西連携海外観光プロモーションの実施

各国政府要人表敬や現地旅行社・メディア関係者との交流レセプション、関西観光展の開催など、誘客促進事業を実施

【R元年度実績】

○実施時期：令和元年10月13日(日)～20日(日)

○実施場所：イギリス、フランス

○実施内容：政府要人表敬、交流レセプション 等

オ せとうち※DMOへの参画

(一社)せとうち観光推進機構における広域連携での取組を継続し、本県へのさらなる誘客を促進

○構成県 兵庫県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県

〔※DMO(デステイネーション・マネジメント/マーケティング・オーガニゼーション)
観光地を活性化させて地域全体を一体的にマネジメントしていく組織〕

③ 大阪・関西万博までを見据えた外国人旅行者受入環境の整備

ア インバウンド受入体制整備促進事業

観光案内所や多言語案内看板等の受入基盤の整備や体験型プログラム創出等、地域におけるインバウンド受入体制整備の取組みを支援

(ア) 外国人観光客受入基盤整備事業

○対象経費 多言語案内看板整備、キャッシュレス・通訳システム導入、多言語対応ウェブサイト作成

○補助率 対象経費の1/2、上限1団体5,000千円

(但し、Wi-Fi環境整備は、補助率2/3、上限1団体200千円)

【R元年度実績】 補助件数24件(うち、Wi-Fi環境整備は5件)

(イ) 体験観光促進支援事業(再掲(P114))

(ウ) 商店街におけるキャッシュレス対応機器等の導入促進(再掲(P84))

イ 訪日教育旅行誘致・受入促進

(ア) 海外からの教育旅行の誘致・受入を推進する専門員の配置等

○配置人数 3人（学校コーディネーター1人、学校交流プランナー2人）

○配置場所 (公財)兵庫県国際交流協会

(イ) 関西近隣府県連携による教育旅行誘致促進事業

大阪府、京都府、奈良県、和歌山県と連携し、関西への訪日教育旅行の誘致活動を実施

○台湾プロモーション（令和元年6月10日～14日）

○香港プロモーション（令和元年9月25日～28日）

○オーストラリアプロモーション（令和元年11月11日～15日）

ウ 関西国際空港内案内所の共同運営等

関西9府県（徳島県、福井県、鳥取県を含む）、政令市と共同で、関西国際空港旅客ターミナル1階国際線到着ロビー内に案内所を設置し、本県への誘客を促進

【R元年度実績】 来所者数：175,009人

2 県内外からの誘客促進

（1）国内での誘客の促進

① ゴールデンスポーツイヤーズを活かした国内誘客促進

ア 「あいたい兵庫」プロモーションでのスポーツツーリズムの展開

ラグビーワールドカップの開催に合わせ、兵庫で楽しめる様々なスポーツアクティビティ（サイクリング、マラソン、トレッキング、森林浴、ゴルフ、カヌー、スキーなど）をテーマに展開

○実施内容 ガイドブック・ポスター・ホームページ・SNS等を活用したプロモーション
オンライン旅行社と連携した宿泊プランの企画
交通事業者と連携した誘客 等

【R元年度実績】 市町・観光協会等連携イベント「あいたい兵庫ご当地スポーツ大博覧会」の開催 来場者数5,200名

イ ラグビーワールドカップと連動した兵庫物産フェアの実施

ラグビーワールドカップの神戸開催で、兵庫県への関心が高まるこの機会に、国内外からの観戦者、マスコミ向けに、「五つ星ひょうご」をはじめとした兵庫の特産品をPR

○実施時期 令和元年9月26日～10月8日（神戸開催の期間中）

○実施内容

- ・ラグビーワールドカップのファンゾーン（メリケンパーク）での飲食ブース出展
- ・試合会場周辺施設で「兵庫うまいもんフェア」の開催及び、兵庫の地酒を提供するスポーツバーを開設（大型スクリーンにて試合中継を放映）
- ・神戸市内のホテルで「兵庫五国」をテーマとした期間限定メニューの提供（9・10月の2ヶ月間）、ロビー前に特産品PRコーナーの設置
- ・観光案内所等で兵庫の特産品や観光PRを実施

3 五国の地域資源の磨き上げ・ツーリズムづくりの推進

(1) 新たな観光資源を活用したツーリズムづくり

① 観光WEBサイトの充実強化～口コミ、リコメンド機能による双方向化～

- 県民等からの口コミ、リコメンド機能など情報共有可能な観光WEBサイトの機能拡充、口コミ情報やフォトライブラリーの内容充実、新規コンテンツを追加
- モデルコースと公共交通機関情報の連動
 - ドローンを活用した空撮動画など、映像ライブラリーの充実
 - 兵庫の日本遺産や「ひょうごゴールデンルート」東側ルートを紹介する特集コンテンツの追加

② 濑戸内海クルーズの推進

「瀬戸内国際芸術祭 2019」の開催に合わせ、神戸港～直島港、淡路交流の翼港～直島港を結ぶクルーズ事業を実施し、同時期に本県を訪れるラグビーファンに淡路島をはじめ瀬戸内海の魅力を広くPR

- 事業内容 神戸港また淡路交流の翼港～直島港を結ぶクルーズ事業を実施
- 実施時期 神戸発：令和元年10月6日、10月20日、10月27日
淡路発：令和元年9月29日、10月22日、10月31日、11月6日

③ 観光地の魅力アップ支援

滞在型観光や着地型観光、地域間の連携による広域観光の推進のほか、特産品の振興等、地域の主体的な取組を支援

- 事業内容 広域的かつ先導的な地域の魅力づくりのための取組
- 補助対象 観光協会、公益法人、第三セクター、商工会議所及びこれら団体・企業等が参画する協議会等
- 補助率 補助対象経費の1/2以内
- 限度額 2,000千円

【R元年度実績】 補助件数：12件

④ ひょうごロケ支援Netの推進

県内関係機関が連携し、広く情報発信力を持つ映画・テレビドラマ等のロケ誘致を推進するとともに、映画等の撮影地をツーリズム資源として情報発信

【R元年度実績】 撮影支援：52件

⑤ ひょうごツーリズムバスの実施

県内施設や催事の見学、体験などを目的とした借上バスによる県外・海外からの団体旅行に対して助成を行い、誘客を促進

- 補助対象 10人以上で貸切バスを利用した旅行を行う県外旅行者
(対象施設：(例) 姫路城、竹田城跡、ハーバーランド等 約1,400箇所)

○補助率 定額

参加人数	県内で宿泊	日帰り
20人以上	30,000円	15,000円
10～19人	15,000円	7,500円

【R 元年度実績】 補助台数：1,825 台

(2) 地域の産業と協働するツーリズムづくり

① 「五つ星ひょうご」プロモーション事業の実施

本県特産品を「五つ星ひょうご」として選定し、首都圏等のPR効果の高い地域において販売を強化し、全国に向け積極的にプロモーションを展開

【R 元年度実績】

五つ星ひょうご選定数 68 品目

五国ひょうご五つ星フェアへの出展(R1.5.15～19、そごう西神店)

兵庫県フェアの開催(R1.9.26～29、イオン神戸南店)

第54回スパ・マーケット・トレードショーへの出展(R2.2.12～14、幕張メッセ)

② ひょうご観光本部との連携による効果的な情報発信

民間の活力と地域の主体性を最大限に活かす官民協働の中核的な組織である(公社)ひょうご観光本部と連携し、県内のツーリズム資源について効果的な情報発信を実施

(ア) インターネットによる情報発信

(イ) 地域プレゼンテーション(マスコミ・旅行社招聘)事業の実施

(ウ) 各種イベント等における観光・物産PR 等

【R 元年度実績】

Hyogo!ナビ(県公式観光サイト)のページビュー数 1,873,345PV/年、

地域プレゼンテーションの実施 8回、イベント等におけるPR 20回

③ 兵庫わくわく館を活用したプロモーション

首都圏アンテナショップ「兵庫わくわく館」を活用し、首都圏における県観光・特産品の情報を発信

(ア) 「五つ星ひょうご」をはじめとする特産品の展示・販売

(イ) 観光動画の放送、観光ポスター・パンフレット等の掲示

【R 元年度実績】 東京における物産展への出展 2回

④ 「INFORMATIONひょうご・関西」の運営

伊丹空港に設置した「INFORMATIONひょうご・関西」において、県観光・物産情報等を発信

○設置場所 伊丹空港ターミナルビル2階到着口正面付近

○事業内容

- ・デジタルサイネージによる観光案内
- ・ひょうご特産品自動販売機
- ・観光案内ロボット
- ・観光情報提供・相談・案内

【R 元年度実績】 利用者数：46,374人

プロジェクト9 だれもが安心・快適に兵庫を体験・滞在し楽しめるツーリズム推進の体制づくり

1 ハード・ソフト両面のユニバーサル化の推進

(1) 多言語化や通信環境等のバリアフリー化の推進

① 多言語観光ウェブサイトによる情報発信事業の実施（再掲(P114)）

② インバウンド受入体制整備促進事業

(ア) 外国人観光客受入基盤整備事業（再掲(P115)）

(イ) 体験観光促進支援事業（再掲(P114)）

(ウ) 商店街におけるキャッシュレス対応機器等の導入促進（再掲(P84)）

2 観光関連事業者・団体・観光人材の組織・人強化

(1) 観光の人材確保・育成

① 観光産業の人材確保・育成事業

観光産業のやりがいや魅力の情報発信を行い、イメージアップを図るとともに、就職説明会への合同参加やインターンシップ等を推進

○就職フォーラムへの合同参加

【R 元年度実績】 大阪開催（転職） 5社出展、ブース来場者 50名

大阪開催（新卒） 4社出展、ブース来場者 114名

「ひょうご経済・雇用活性化プラン」で定める成果指標の達成状況

84%にあたる 64 指標が、年度目標を達成(4 点：達成率 100%以上)又は、概ね達成(3 点：達成率 90%以上)となっている。

活性化プランで定める強化策	4点	3点	2点	1点	指標数	未判明指標数	達成状況 (3点以上の指標の割合)
I 「稼ぐ力を持つ産業」	20	7	2	3	32	10	84% (27指標/32指標)
II 「環境変化に対応し、挑戦する人材」	12	6	1	2	21	6	86% (18指標/21指標)
III 「地域の魅力で沸き起こる交流」	13	6	2	2	23	0	83% (19指標/23指標)
全体 (成果指標総数)	45	19	5	7	76	16	84% (64指標/76指標)

※達成率により評価点を1～4に区分(4：100%以上、3：90%以上 100%未満、2：80%以上 90%未満、1：80%未満)

[未達成指標(評価点が2点または1点)の指標]

指標名	理由	今後の対応
航空産業非破壊検査トレーニングセンターにおける検査員養成人数(目標 25 人 実績 16 人)	MT(磁粉探傷) の 2 回目の募集に応募がなく、また、OJT の場が不足する等、訓練需要が想定を下回った。	全体としては前年度から 4 人増加しており、引き続き関連企業への PR に努め、養成人数の確保を図る。
新たな担い手による空き店舗への出店数(目標 70 件 実績 61 件)	一部の空き店舗で起業者のニーズと合致しなかった。	引き続き、制度の周知を図るとともに、起業者と空き店舗のマッチングを促進する。
新規就農者数(目標 400 人 実績 243 人)	他産業との人材の引き合いが強まり、独立就農者が減少した。	就農相談や農業イターンシップの実施に加え、就農希望者向け農業情報総合サイト等での本県農業の PR により、確保を図る。
異業種交流グループ支援件数(目標 40 件 実績 26 件)	事業開始から 5 年が経過し、新たな案件が生まれにくくなっている。	引き続き、既補助対象団体に働きかけるとともに、成長期待企業グループ等による幅広い連携を支援し、異業種交流を促進する。
ひょうごオンリーワン企業認定数(目標 10 社 実績 8 社)	10 社を超える応募があったものの、ひょうごオウリーワン企業の水準を満たす企業を厳選した。	引き続き、制度周知を図り、応募数を増やすとともに、支援策の積極的な活用を促進し、中小企業の技術力の底上げを図る。
中小企業育児・介護代替要員確保支援助成件数(目標 200 件 実績 93 件)	有効求人倍率が高い中、有期雇用が多い育児・介護休業取得者等の代替要員の確保が難しかった。	引き続き、仕事と生活センターの研修や専門家派遣により、育児・介護休業等の活用を促進し、代替要員確保への取組を支援する。
中小企業育児・介護等離職者雇用助成件数(目標 120 件 実績 31 件)	採用の要件である離職理由や家庭の状況等に関する情報の把握が難しかった。	引き続き、仕事と生活センターの研修、専門家派遣、関係団体や企業等への広報により、離職者雇用を促進、支援する。
仕事と生活の調和推進認定企業数(目標 60 社 実績 52 社)	ワーク・ライフ・バランスの取組を宣言する企業は大きく増加したものの、認定レベルに達する取組を実施する企業は上方修正した目標に届かなかった。	引き続き、宣言企業を増やすとともに、従業員意識調査や専門家派遣、研修等を実施し、認定に向けた取組実施を促進する。
外国・外資系企業の進出件数(目標 25 件 実績 19 件)	新型コロナウイルス感染症の影響で、年度内の進出を断念した企業があった。	新型コロナウイルス感染症の影響を見極めつつ、今後もひょうご・神戸投資ポートセンター等と連携して企業誘致に努めていく。
友好姉妹州省等からの文化・経済交流による来県件数(目標 65 件 実績 56 件)	新型コロナウイルス感染症の影響により、海外からの訪問件数が減少した。	新型コロナウイルス感染症の状況を見極めつつ、収束後の交流再開に向けて、引き続き、連絡・調整を進める。

指標名	理 由	今後の対応
海外からの観光客数 (目標 260 万人 実績 193 万人)	隣接する大阪府、京都府へ訪れる外国人旅行者を十分に取り込めなかった。	外国人旅行者の誘客促進を図るため、海外から選ばれる魅力創出と情報発信に取り組む。
県内観光消費額 (目標 1 兆 5,000 億円 実績 1 兆 3,114 億円)	暖冬によるスキー場の雪不足や、新型コロナウイルス感染症の影響により観光客が減少した。	新型コロナウイルス感染症の状況を見極めつつ、県内観光の魅力創出と情報の発信を行い、誘客促進を図る。

成果指標の達成状況一覧

「評価点」欄中に◆のあるものは目標を下回ったもの

強化策 I 稼ぐ力を持つ産業

プロジェクト1 世界をリードする技術基盤とサプライチェーンを生かした次世代成長産業の集積

1 世界水準の技術を誇る県内企業による先端分野参入支援

指標名	単位	目標値		実績値		
		R1	R1	達成率	評価点	
新素材関連産業の出荷額	億円	1.0	1.6	160.0	4	
ひょうご次世代産業高度化プロジェクト参加・支援企業数(累計)	社	2,565	6,061	236.3	4	
ひょうご次世代産業高度化プロジェクトAI・IoT分野参加・支援企業数(累計)	社	476	1,068	224.4	4	
航空産業非破壊検査トレーニングセンターにおける検査員養成人数	人	25	16	64.0	1 ◆	

2 科学技術基盤の産業利用の促進・裾野拡大

指標名	単位	目標値		実績値		
		R1	R1	達成率	評価点	
SPring-8県ビームライン稼働率	%	100	100	100.0	4	
FOCUSスパコンを利用した研究開発企業数	社	170	191	112.4	4	

3 成長が見込まれる先端分野の開拓・深耕に向けた産学官連携の推進

指標名	単位	目標値		実績値		
		R1	R1	達成率	評価点	
兵庫県最先端技術研究事業(COEプログラム)による产学研官共同研究参加企業数	社	22	41	186.4	4	
ひょうご産学官連携コーディネーター協議会によるコーディネート件数	件	25	28	112.0	4	
国際フロンティア産業メッセ参加企業数	社	500	522	104.4	4	

4 県内投資を促進する立地競争力の強化

指標名	単位	目標値		実績値		
		R1	R1	達成率	評価点	
企業立地件数	件	175	174	99.4	3	
企業立地によるしごと創出数(累計)	人	8,952	9,230	103.1	4	

プロジェクト2 地域社会に根ざした地場産業、商店街、サービス業、農林水産業等の地域産業の持続・高付加価値化

1 地場産業の新たな展開支援

指標名	単位	目標値		実績値		
		R1	R1	達成率	評価点	
じばさんひょうごブランド創出支援事業、地場産業ブランド力強化促進事業による支援件数	件	20	21	105.0	4	

2 地域の商業と商店街の活性化

指標名	単位	目標値		実績値		
		R1	R1	達成率	評価点	
新たな担い手による空き店舗への出店数	件	70	61	87.1	2 ◆	
商店街支援事業支援件数(累計)	件	375	592	157.9	4	
キャッシュレス決済可能な商店街・小売市場数	店舗	100	119	119.0	4	

3 域内消費型サービス業の高付加価値化

指標名	単位	目標値		実績値		
		R1	R1	達成率	評価点	

判明指標なし

4 地域を支える農林水産業の基幹産業化

指標名	単位	目標値			実績値		
		R1	R1	達成率	評価点		
法人経営体数(累計)	法人	640	610	95.3	3		
新規就農者数	人	400	243	60.8	1 ◆		
海外市場開拓数(品目ごとの累計)	国・地域	140	143	102.1	4		

アドベクト3 技術革新・地域資源を活用し、新たなニーズを捉える新産業・新事業の創出

1 若者をはじめとした多様な主体による起業・創業の促進

指標名	単位	目標値			実績値		
		R1	R1	達成率	評価点		
起業・創業の拡大によるしごと創出数(累計)	人	1,300	1,198	92.2	3		
起業支援件数	件	225	219	97.3	3		
起業プラザひょうご会員数	人	50	93	186.0	4		
コワーキング施設開設支援件数	件	3	7	233.3	4		

2 中小企業の経営力強化と技術革新・地域資源を活用した新事業展開

指標名	単位	目標値			実績値		
		R1	R1	達成率	評価点		
成長期待企業支援企業数	件	100	97	97.0	3		
中小企業経営革新計画承認件数	件	120	119	99.2	3		
異業種交流グループ支援件数	件	40	26	65.0	1 ◆		
事業承継円滑化支援件数(累計)	件	2,000	6,325	316.3	4		

3 中小企業の変革を支える金融の円滑化

指標名	単位	目標値			実績値		
		R1	R1	達成率	評価点		
中小企業等融資制度における融資枠	億円	3,500	3,600	102.9	4		

4 大手企業、中小・ベンチャー企業、公設試験研究機関等の連携によるオープンイノベーションの推進

指標名	単位	目標値			実績値		
		R1	R1	達成率	評価点		
県立工業技術センターの共同・受託研究等の実施件数	件	800	780	97.5	3		
ものづくり支援センターによる共同研究プロジェクトのコーディネート件数	件	30	31	103.3	4		

5 ものづくり、知識集約型サービス業(情報通信・対事業所サービス等)の強化・育成

指標名	単位	目標値			実績値		
		R1	R1	達成率	評価点		
ひょうごNo.1ものづくり大賞選定件数	件	7	8	114.3	4		
ひょうごオンライン企業認定数	社	10	8	80.0	2 ◆		
IT戦略推進事業支援件数(累計)	件	49	51	104.1	4		

強化策Ⅱ 環境変化に対応し、挑戦する人材

プロジェクト4 未来の担い手、技術革新を担う人材の呼び込みによる、兵庫の飛躍に向けた働き手の確保

1 若者の県内就職及び定着の支援

指標名	単位	目標値		実績値		
		R1	R1	達成率	評価点	
県の支援によるUJIターン就職者数	人	600	722	120.3	4	
中小企業就業者確保支援事業における奨学金返済支援者数	人	400	383	95.8	3	
若者しごと俱楽部を通じた就職支援人数	人	2,000	2,243	112.2	4	
就業体験事業の体験人数	人	600	992	165.3	4	
地元企業・中小企業等とのマッチング就職面接会への大学生等の参加者数	人	2,500	2,502	100.1	4	

2 技術革新対応人材の県内就職の推進

指標名	単位	目標値		実績値		
		R1	R1	達成率	評価点	
次世代産業におけるしごと創出数(累計)	人	1,237	2,260	182.7	4	

3 兵庫を担う多様な人材の活躍推進

指標名	単位	目標値		実績値		
		R1	R1	達成率	評価点	
障害者雇用率	%	2.20	2.16	98.2	3	
女性就業相談室の支援による就業者数(累計)	人	1,300	1,322	101.7	4	
シルバー人材センター事業による就業実人員数	人	35,000	34,232	97.8	3	

プロジェクト5 一人ひとりが、自らの状況に応じて働きやすい環境づくり

1 多様な働き方の推進

指標名	単位	目標値		実績値		
		R1	R1	達成率	評価点	
中小企業育児・介護代替要員確保支援助成件数	件	200	93	46.5	1 ◆	
中小企業育児・介護等離職者雇用助成件数	件	120	31	25.8	1 ◆	

2 ワークライフ・バランスの推進

指標名	単位	目標値		実績値		
		R1	R1	達成率	評価点	
仕事と生活の調和推進認定企業数	社	60	52	86.7	2 ◆	
ひょうご仕事と生活センター研修実施企業数	社	200	209	104.5	4	
中小企業従業員共済制度(ファミリーパック)の非正規従業員加入支援者数	人	1,000	1,305	130.5	4	

プロジェクト6 人生100年時代と技術変化の加速に応じた切れ目ない学び直しの場による、生涯現役の産業人材育成

1 産業構造変化に伴う新たな専門性を身につける職業能力開発

指標名	単位	目標値		実績値		
		R1	R1	達成率	評価点	
産業の高度化に対応した職業訓練における就職率	%	75	76	101.3	4	
中高年齢者に対する職業訓練における就職率	%	70	78	111.4	4	
職業能力開発校における就職率	%	80	86	107.5	4	
委託訓練による就職率(離職者等再就職訓練事業、実習・座学連携養成事業)	%	75	72	96.0	3	
障害者職業能力開発支援訓練による就職率	%	70	80	114.3	4	
ものづくり大学校等での在職者訓練(技能向上訓練等)実施人数	人	1,200	1,146	95.5	3	

2 ものづくり人材の育成

指標名	単位	目標値		実績値		
		R1	R1	達成率	評価点	
ものづくり大学校における中学生の体験者数	人	12,000	11,043	92.0	3	

強化策Ⅲ 地域の魅力で沸き起こる交流

アセスメント7 多文化共生の先進地としての強みを生かし、海外の成長活力を捉える国際交流の推進

1 国際的な事業展開の推進

指標名	単位	目標値 R1	実績値		
			R1	達成率	評価点
県内に本社を置く企業の海外進出数	社	673	673	100.0	4
ひょうご海外ビジネスセンターにおける相談件数	件	420	434	103.3	4
中小企業海外展開支援助成件数(累計)	件	151	153	101.3	4
国際経済交流テクニカルビジットの受入件数	件	10	11	110.0	4

2 海外からの企業立地の促進

指標名	単位	目標値 R1	実績値		
			R1	達成率	評価点
外国・外資系企業の進出件数	件	25	19	76.0	1◆
専門的・技術的分野(10分野)の在留外国人者数	人	6,340	9,295	146.6	4
ひょうご・神戸アラムナイネットワーク交流会参加者数	人	150	171	114.0	4

3 国際交流基盤の充実・活用

指標名	単位	目標値 R1	実績値		
			R1	達成率	評価点
住んでいる市町は外国人にも住みやすくなっていると思う人の割合	%	30	27	90.0	3
県内外外国人相談窓口数	カ所	38	40	105.3	4
HUMAPによる留学(派遣及び受入)支援者数	人	80	78	97.5	3
淡路夢舞台国際会議場における国際会議等の開催件数	件	410	404	98.5	3
友好姉妹州省等からの文化・経済交流による来県件数	件	65	56	86.2	2◆

アセスメント8 自然、文化、スポーツなど五国を織りなす多様で豊かな地域資源を生かした誘客の拡大

1 海外からの誘客促進

指標名	単位	目標値 R1	実績値		
			R1	達成率	評価点
海外からの観光客数	万人	260	193	74.2	1◆

2 県内外からの誘客促進

指標名	単位	目標値 R1	実績値		
			R1	達成率	評価点
観光入込客数	百万人	150	137	91.3	3
県内宿泊者数	万人	1,500	1,442	96.1	3

3 五国の地域資源の磨き上げ・ツーリズムづくり推進

指標名	単位	目標値 R1	実績値		
			R1	達成率	評価点
県内観光消費額	億円	15,000	13,114	87.4	2◆
新たな産業ツーリズム施設・コースの設定数	コース	5	5	100.0	4
国内向け新たな体験ツーリズムへの支援件数	件	3	3	100.0	4
「五つ星ひょうご」認定数	商品	50	68	136.0	4
インバウンド向け体験型プログラム創出への支援件数	件	7	11	157.1	4

アセスメント9 だれもが安心・快適に兵庫を体験・滞在し楽しめるツーリズム推進の体制づくり

1 ハード・ソフト両面のユニバーサル化の推進

指標名	単位	目標値 R1	実績値		
			R1	達成率	評価点
外国人観光客受入体制整備事業における補助件数	件	5	19	380.0	4
商店街等による外国人受入環境(免税手続一括カウンター等)整備支援件数	件	3	3	100.0	4

2 観光関連事業者・団体・観光人材の組織・人強化

指標名	単位	目標値 R1	実績値		
			R1	達成率	評価点
観光産業の人材確保・育成事業に関する参加者数	人	50	47	94.0	3

【R元年度の達成率・評価点が判明していない指標】

指標名	単位	目標値 R1	実績値		
			R1	達成率	評価点
航空・宇宙関連産業の県内企業生産額	億円	2,450	-	-	-
ロボット関連産業の県内企業生産額	億円	610	-	-	-
次世代エネルギー関連産業の県内企業生産額	億円	2,960	-	-	-
先端医療関連産業(医療機器)の県内企業生産額	億円	870	-	-	-
全国シェア1位の地場産業産地数	产地	7	-	-	-
県内サービス産業の売上高	億円	124,162	-	-	-
6次産業化販売額	億円	900	-	-	-
県内中小企業の1企業当たり売上高の増加率	%	1.0	-	-	-
情報通信関連産業の売上高	億円	2,259	-	-	-
県内サービス産業の売上高【再掲】	億円	124,162	-	-	-
若者(25～39歳)の有業率	%	5年単位で 計画設定 (R4年:84.2)	-	-	-
女性(30～39歳)の有業率	%		-	-	-
高齢者(65～74歳)の有業率	%		-	-	-
県内中小企業等へ就職した外国人留学生数	人	480	5年単位で 計画設定 (R4年:27% 以下)	-	-
20代・30代の非正規雇用比率	%	-	-	-	
過去5年間の出産・育児、介護・看護による離職人数	人	5年単位で 計画設定 (R4年:61,700 以下)	-	-	-

第3章

令和2年度の施策展開

令和2年度の施策展開

兵庫経済の成長を確実なものとするため、平成31年3月に策定した「ひょうご経済・雇用活性化プラン（2019～2023年度）」の強化策「I 稼ぐ力を持つ産業」「II 環境変化に対応し、挑戦する人材」「III 地域の魅力で沸き起こる交流」の各分野において施策展開を図る。

強化策 I 「稼ぐ力を持つ産業」

1 次世代産業の創出・育成

(1) 次世代産業の創出・育成

ア A I ・ I o T の導入促進

ものづくり中小企業の人手不足・競争力強化に対応するため、生産性・品質向上に資するA I ・ I o T 等の導入を支援。「スマートものづくりセンター神戸」を設置し、県内中小企業のデジタル技術の実装支援を展開

イ 成長産業育成コンソーシアム推進事業の実施

次世代産業分野におけるイノベーション創出を促進するため、県内企業や大学、研究機関等で構成する成長産業分野別のコンソーシアムを構築

ウ ひょうごメタルベルトを中心とした金属新素材の開発・普及

工業技術センターのサテライトとして設置した「金属新素材研究センター」を核として、高付加価値化を実現する金属新素材の製造や3D造形技術の開発を通じた技術移転を推進

2 地域を支える産業の振興

(1) 中小企業の経営力強化

ア 中小企業の事業継続支援の強化

(ア) (公財) ひょうご産業活性化センターにコーディネーターを設置し、専門家派遣などのきめ細やかな支援を実施
(イ) 事業承継を躊躇する中小企業を後押しするため、事業承継時に発生する経費を補助

イ 中小企業者の災害時の事業継続支援

(ア) 大規模災害発生時における企業経済活動の継続を図るため、県内企業のB C P（事業継続計画）策定及びB C Pの実行性を高めるために実施する訓練等に対して支援
(イ) 「事業継続力強化計画」等の認定を受けた事業者に対し、産業・労働関係の補助金及び認定・表彰制度の審査において加点等を実施

(2) 中小企業を支える金融支援

ア 中小企業融資制度の推進

- (ア) 融資枠3,600億円を維持し、引き続き県と神戸市が連携・協調して対応
- (イ) 事業承継支援貸付を新設
- (ウ) 新規開業貸付、新技術・新事業創造貸付及び経営活性化資金の要件を拡充
- (エ) 防災促進貸付及び観光・おもてなし貸付の整備

(3) 地域の商業・商店街の活性化

ア 地域のにぎわい創出

商店街に継続的な賑わいを創出し潤いをもたらすため、商店街等が行う地域性・独自性をもったイベントなどを支援し、ファンづくりを応援

(4) ものづくり産業・地場産業の支援

ア 工業技術センターによる技術支援

技術相談や依頼試験への対応をはじめ、航空産業非破壊検査トレーニングセンター、工業技術支援センター（繊維：西脇、皮革：姫路）の専門性を生かし、中小企業や地場産業の技術の高度化を支援

イ 地場産業のブランド力強化の促進

- (ア) 産地組合等が行う販路拡大、海外展開のための新技術開発、人材育成、首都圏でのアンテナショップを核とした販路開拓等の取組を支援
- (イ) 産地企業等の海外展開を促進するため、戦略策定から新製品・新技術開発、販路拡大までを総合的に支援

3 起業・創業、産業立地の促進

(1) 起業・創業の促進

ア 起業・創業の活性化

- (ア) 女性・若手・ミドル・シニア・U J I ターン者と各層に対して、助成金等による切れ目のない資金に加え、各階層に応じた支援を実施
- (イ) 三井住友銀行神戸本部ビルへの起業プラザひょうごの移転やUNOPS（国連プロジェクト・サービス機関）のG I C（グローバル・イノベーション・センター）の誘致、姫路市・尼崎市におけるエリア拠点の設置により起業家を支援

イ I T 企業の進出支援

県内対象地域で新たにI T 事業所を開設する事業者等に対し、事業所の立上げに必要となる経費を補助

(2) 産業立地の促進

ア 企業立地促進対策の強化

立地支援施策の対象をほぼ全ての業種に拡大する等県内全域での幅広い産業立地を促進するための立地支援施策を実施

イ 空き床等への入居促進

空き期間が6か月以上の事業用建物やオフィスビルの空き床へ入居する事業者に入居時の改修費用又は賃料の一部を補助

強化策Ⅱ 「環境変化に対応し、挑戦する人材」

1 ひょうごで働く！プロジェクトの推進

(1) 若者の県内就職の促進

ア 若者と県内企業とのマッチング

県内企業の魅力や「ひょうごで働く！プロジェクト」の施策内容のPRを図り、若者と県内企業のマッチング及び首都圏へ流出した女子学生・転職希望者等と県内企業で活躍する女性社員等による交流会を実施

イ 大学等と連携した就活支援事業の実施

中小企業の人材確保を図るため、大学生等を対象としたインターンシップを実施

(2) 中小企業の魅力アップ支援

ア 中小企業就業者確保支援事業の実施

県内中小企業の人材確保や若者の県内就職及び定着を促進するため、従業員の奨学金の返済負担軽減制度を設ける中小企業を支援

イ 中小企業情報発信への支援

採用力・定着力強化に向けた情報発信などの取組を実施する中小企業を支援

2 多様な人材の就労促進

(1) 多様な人材の活躍推進

ア 就職氷河期世代への就労支援

学卒未就職者や不安定就労者等を正規雇用につなげる人材育成プログラムの実施やミドル世代(40～64歳)を対象とした就労相談窓口を設置

イ 女性の雇用・就業の促進

女子学生に対し、就職活動前から企業研究やキャリアプランニングに取り組むことを支援するとともに、ものづくり中小企業における人手不足解消のため、女性のものづくり分野への就業を促進

ウ 高齢者の雇用・就業の促進

就労意欲のあるシニア世代(65歳以上)がライフスタイルや能力に合わせて活躍できるよう、相談窓口を設置し、就労希望者のマッチングを支援

エ 障害者の雇用・就業・定着の促進

県独自のジョブコーチ制度を創設し、障害者の職場を訪問し、個々の特性を踏まえた専門的な伴走型支援を実施する等、法定雇用率の達成に向け、雇用の場の確保や職場定着を支援

オ 外国人労働者の受入拡大

県内企業の外国人雇用に対する理解を深め、円滑な雇用を支援するため、相談等を行う外国人雇用HYOGOサポートデスクを設置

3 働き方改革の推進

(1) ワーク・ライフ・バランス(WLB)の推進

ア ひょうご仕事と生活センター事業の推進

(ア) 普及啓発・情報発信、相談、研修企画・実施等の各事業に取り組み、多様で柔軟な働きやすい雇用就業環境を創出

(イ) 県内企業向け研修会の開催、取組事例等の情報発信を実施

イ 中小企業における取組の促進

(ア) 育児・介護等による離職者を雇用した事業主に対し助成するとともに、育児・介護による休業者及び短時間勤務制度利用者の代替要員の雇用に要する賃金の一部を助成

(イ) 中小企業の福利厚生制度(中小企業従業員共済制度)において、健康分野の福利厚生メニューの補助と加入促進への支援

4 職業能力の向上

(1) ものづくり人材の育成

技能検定の普及と若者の受検促進やものづくり技能フェスタの開催などを通じて、技能士の技能向上、技能継承、若年労働者の職業能力開発を促進

(2) 職業能力の開発

ア 求職者に対する能力開発の推進

職業能力開発施設や民間教育機関を活用した職業訓練を実施

イ 在職者に対する能力開発の推進

工作機器メーカーと連携し、ものづくり人材の技能向上・中小企業に対する高度技術の普及啓発や単独では技能向上のための取組が困難な中小企業のニーズを踏まえ、各種資格取得や技能レベルに応じたきめ細かな訓練を実施

強化策Ⅲ 「地域の魅力で沸き起こる交流」

1 国際交流の推進

(1) 国際交流基盤の充実・活用

ア ひょうご多文化共生総合相談センターの運営

11言語での相談対応、NGO法人と連携した週末相談を行い、外国人県民への生活相談、情報提供を実施

イ 海外事務所の運営

世界の活力を呼び込む総合窓口として、友好・姉妹州省とのネットワークを強化し、総合的な国際施策を推進

(2) 県内企業の海外展開への支援

ジェトロ神戸や神戸市海外ビジネスセンターと「ひょうご・神戸国際ビジネススクエア」として連携し、ひょうご国際ビジネスサポートデスクや海外事務所等を活用して、中小企業の海外展開をワンストップで支援

2 観光による交流人口の拡大

(1) 誘客に向けた戦略的取組の強化

本県を訪れた日本人観光客に対する満足度等のアンケート調査やひょうご観光本部がプロデュース機能を活かし、テーマに沿った観光素材にグルメや温泉等を組み合わせた体験・滞在型コンテンツを地域と協働して開発

(2) 県内外からの誘客の促進

ア 兵庫ならではのツーリズムづくり

(ア) “あいたい兵庫”をキャッチコピーに、ガイドブックの発行や観光PR動画の制作、Instagramフォトコンテストの実施による年間を通じた観光プロモーションを実施

(イ) 映画・テレビドラマ等のロケ誘致を推進するとともに、映画等の撮影地をツーリズム資源として情報発信

イ 地域の産業と協働するツーリズムづくり

首都圏のアンテナショップや伊丹空港の県観光・物産情報コーナー等も活用し、「五つ星ひょうご」をはじめとした兵庫の物産の魅力を全国に発信

ウ 少雪の影響を受けた地域への誘客促進

少雪に加え、新型コロナウイルス感染症で大きな影響を受けたスキー場に対し、造雪・降雪設備の導入への支援等により年間を通した誘客を促進

(3) 海外からの誘客の促進

ア インバウンド再開を見据えた受入基盤の整備

兵庫五国の地域資源を活かした体験・滞在型コンテンツを造成、販売基盤を整備し、観光地の受入環境整備を支援。また、地域の魅力に精通した観光ガイドなど、コンテンツの高付加価値化を図るとともに、外国人県民を通じて兵庫の魅力を発信

イ スポーツ・ツーリズムの推進

WMG関西・東京オリパラに向け、欧州・豪州向けゴルフトーリズム、兵庫五国の風景や文化・食を楽しむサイクルツーリズムの造成を促進

(※新型コロナウイルス感染症に伴う緊急経済対策はP54～P67を参照)

令和 2 年度
ひょうご経済・雇用白書

令和 3 年 2 月 発行：兵庫県

編集：兵庫県産業労働部政策労働局産業政策課
〒650-8567 神戸市中央区下山手通 5 丁目 10 番 1 号